Panasonic®

取扱説明書 活用ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-SX2/CF-NX2 シリーズ

（Windows 8）

この冊子は

『活用ガイド』

です。

- 使用上のご注意事項
- 詳しい操作
- 各種設定
- 再インストール
  など

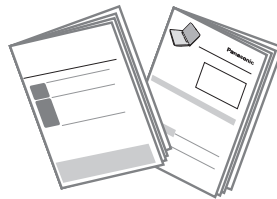
◆ このパソコンにトラブルがあったときは
➡66ページをご覧ください

本機には、各種『取扱説明書』や、パソコンの画面で見る『操作マニュアル』などがあります。
目的に応じてご利用ください。

『取扱説明書 基本ガイド』

- 付属品の確認
- Windows のセットアップ
- 別売品
- 保証とアフターサービス
  など

『Windows® 8入門ガイド』

『取扱説明書
無線 LAN 接続ガイド』

- 機種によっては付属していない場合があります。

『操作マニュアル』

『困ったときのQ&A』

- 本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき
- セキュリティ機能について知りたいとき
- 困ったとき

表記について

● は画面で見るマニュアルのマークです。
● 本書では、「Windows® 8 Pro」および「Windows® 8」を「Windows」または「Windows 8」と表記します。
● 本ページ以降のイラストは説明用イラストであり、詳細な部分は実際と異なる場合があります。

表記やご注意事項
詳しい使い方
困ったとき
さくいん

もくじ

●表記やご注意事項

●詳しい使い方

●困ったとき

このパソコンにトラブルがあったときは

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態のQ&A

パスワード / メッセージのQ&A

もくじ

バッテリーのQ&A

ポインターと画面表示のQ&A

リカバリーディスク(リカバリーDVD)のQ&A

ハードウェアを診断する

PCをリフレッシュする

ハードディスクを復元する

再インストールする

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

エラーコードが表示されたら

アプリケーションソフトの問い合わせ先

フィルタリングについて

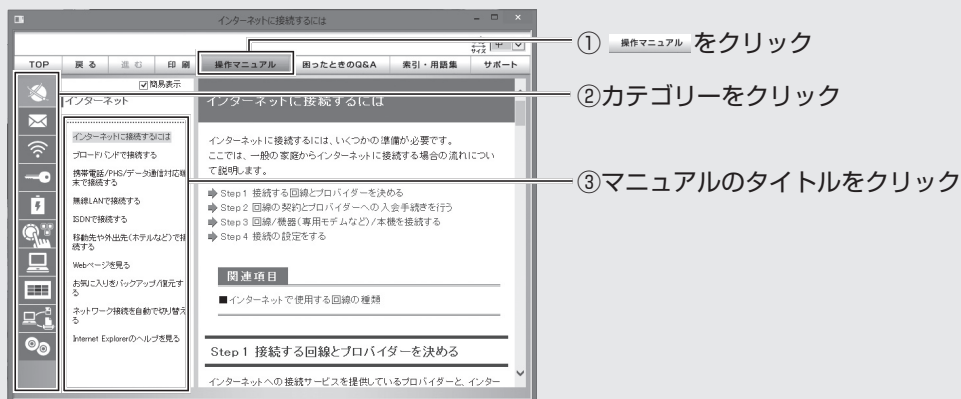
●さくいん

さらに詳しい情報は、画面で見る📖『操作マニュアル』をご覧ください。➡次ページ
保証とアフターサービスについては、付属の『取扱説明書 基本ガイド』をご覧ください。

画面で見る『操作マニュアル』

本機の機能詳細・操作・活用方法やセキュリティ機能について知りたいときにご覧ください。

① スタート画面の［マニュアル選択ユーティリティ］をクリックし、［操作マニュアル］を選び［開く］をクリックする。

② ［本機の機能や活用方法を調べる］をクリックし、［操作マニュアル］を選ぶ。

TOPメニュー

本機の機能や活用方法を調べる
使用時のトラブルの解決方法を調べる
用語集・索引で探す
商標・表記について
電子マニュアルの使い方

インターネット

インターネットに接続するには
ブロードバンドで接続する
携帯電話 /PHS/ データ通信対応端末で接続する
無線 LANで接続する
ISDNで接続する
移動先や外出先（ホテルなど）で接続する
Webページを見る
お気に入りをバックアップ / 復元する
ネットワーク接続を自動で切り替える
Internet Explorerのヘルプを見る

電子メール

メールの設定をする
メールを作成 / 送信する
メールを受信する / 読む
アドレス帳（People）を使う

無線機能

無線機能の電源を入れる / 切る
使用上のお願い
＜無線 LANについて＞
『取扱説明書 無線 LAN接続ガイド』について
無線 LANとは
IEEE802.11aの有効 / 無効を切り替える
電波の状態を確認する
接続の設定をする
外出先で使う
＜WiMAXについて（WiMAX搭載モデルのみ）＞
WiMAXとは
インターネットに接続する
接続する / 切断する
WiMAXのMACアドレスを確認する
WiMAXについてのお問い合わせ先
＜Bluetoothについて（Bluetooth搭載モデルのみ）＞
Bluetoothを使う（Bluetooth搭載モデルのみ）

セキュリティ

セキュリティについて
ステップ別セキュリティ対策
アクションセンター
Windowsを最新の状態にする
Windows Defenderで個人情報（プライバシー）を守る
ウイルスの感染を防ぐ
Windowsファイアウォールを使う
ユーザーアカウント /Windowsパスワードを設定する
パソコン起動時 / 再起動時 / リジューム時のパスワードを設定する
サインイン時にユーザー名を表示しない
起動デバイスなどへのアクセスを制限する
データを保護・暗号化する
データ実行防止機能（DEP機能）を使う

もくじ

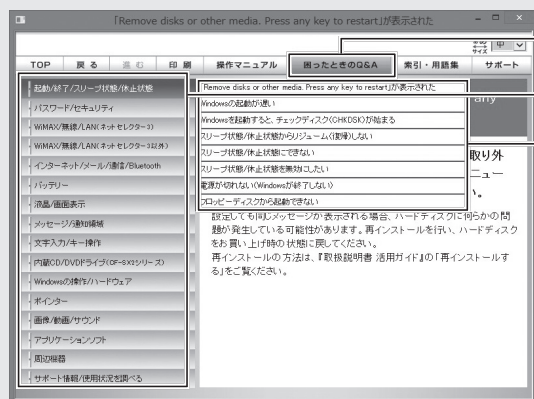
CD/DVDドライブ

<CF-NX2シリーズの場合>
外付けのDVDドライブを接続する
<CF-SX2シリーズの場合>
使用上のお願い
ドライブの電源をオン/オフする
本機で使えるディスク
ディスクのセット/取り出し
DVD-Videoを見る
<以下の項目は、CF-SX2シリーズのスーパーマルチドライブ搭載モデルのみの機能>
CD/DVDにデータを書き込む
音楽CDを作る
DVD-Videoを作る
DVD-RAMを使う

画面で見る『困ったときのQ&A』

本機が正常に動作しないなどのトラブルが発生したときにご覧ください。

① スタート画面の [マニュアル選択ユーティリティ]をクリックし、[操作マニュアル]を選び[開く]をクリックする。

② [本機の機能や活用方法を調べる]をクリックし、[困ったときのQ&A]を選ぶ。

起動/終了/スリープ状態/休止状態

「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された
Windowsの起動が遅い
Windowsを起動すると、チェックディスク（CHKDSK）が始まる
スリープ状態/休止状態からリジューム（復帰）しない
スリープ状態/休止状態にできない
スリープ状態/休止状態を無効にしたい
電源が切れない（Windowsが終了しない）
フロッピーディスクから起動できない

パスワード/セキュリティ

管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを忘れた
スーパーバイザーパスワードを忘れた
アクションセンターの警告機能が働かない
パスワードの入力画面が表示されない
パスワードを入力しても再度入力を求められる
ユーザーパスワードを忘れた

WiMAX/無線/LAN（ネットセレクター3）

「ネットセレクター3」画面を表示できない
[おまかせモードを開始する]が選べない（グレー表示になっている）
[プロファイル]の各メニューが選べない（グレー表示になっている）
接続または通信できない（有線LAN）
接続または通信できない（無線LAN）
接続または通信できない（WiMAX）
接続に時間がかかる
おまかせモードで優先順位の高いプロファイルに接続できない
おまかせモードが終了した
Windowsの設定画面の無線LANまたはWiMAXのオン/オフが意図せず切り替わっている
通知領域に表示される接続可能なネットワークのバルーンが消えた

もくじ

画面で見る『困ったときのQ&A』

文字入力 / キー操作

Fnキーと組み合わせた操作ができない
アルファベットが大文字でしか入力できない
アルファベットのキーを押しても数字が入力される
欧文特殊文字（ß、à、çなど）や記号が入力できない
日本語が入力できない

内蔵 CD/DVD ドライブ（CF-SX2 シリーズ）

CD/DVD ドライブの電源をオン / オフできない
ディスクが取り出せない
ディスクをセットしてもハードディスク / CD/DVDアクセスランプが点滅しない

Windows の操作 / ハードウェア

Windows の動作が遅い
応答がない
ディスクのエラーチェックを行いたい
ハードディスクのデータの読み出しや書き込みができない
ハードディスクの容量が少なく表示される
パソコン本体が熱くなった

ポインター

Bluetooth マウス使用後、ホイールパッドでポインターを操作できない
ポインターが勝手に動く
ホイールパッド使用時、ポインターが動かない
マウス接続時、ポインターが動かない
マウス接続時、ホイールパッドを無効にしたい

画像 / 動画 / サウンド

CD/DVD ドライブの振動や作動音が大きい
CPRM で録画したディスクが再生できない
音が出ない / ビープ音が鳴らない
音が乱れる
起動時の音が途切れる
市販の DVD レコーダーで録画したテレビ番組が再生できない
写真などの画像の色が思うように再現されない
ディスクの再生や書き込みができない
ディスクをセットしても自動再生しない
動画が正しく再生されない
ハードディスクドライブのアクセス音などが大きい

アプリケーションソフト

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない
アプリケーションソフトの操作方法、トラブルについて質問したい
ホイールパッドユーティリティでスクロールができない

周辺機器

SD/SDHC/SDXC メモリーカードを挿し込んでも、動作を選ぶ画面が表示されない
周辺機器が動作しない
大容量のハードディスクに交換したい
ドライバーのインストール中にエラーが起きる
フロッピーディスクの読み出しや書き込みができない
フロッピーディスクを初期化したい
他のマウスドライバーをインストールすると正常に動作しない
割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなど、アドレスマップがわからない

サポート情報 / 使用状況を調べる

ドライバーのアップデートや新着のサポート情報を知りたい
本機の使用状態を確認したい
無線 LAN のサポート情報を知りたい

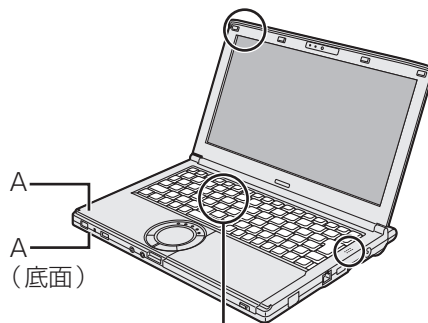
使用上のお願い

使用 / 保管に適した環境

● 平らで衝撃、振動、落下のおそれがない安定した場所
パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

● 使用時の環境
温度：5℃～ 35℃
湿度：30 % RH ～ 80 % RH
（結露なきこと）
保管時の環境
温度：－20℃～ 60℃
湿度：30 % RH ～ 90 % RH
（結露なきこと）
上記の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けたり、本機の近くでの喫煙や、油を使用する場所、ほこりの多い場所でのご使用は、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。

● 熱のこもらない環境
- 保温性の高いところ（ゴムシートや布団の上など）での使用は避け、スチール製の事務机など放熱性が優れた場所でお使いください。
- 放熱の妨げとなりますので、タオルやキーボードカバーなどで覆わずにお使いください。
- 本体のディスプレイは、開いた状態でお使いください。ディスプレイを閉じた状態でも、発煙・発火・故障のおそれはありませんが、温度が上がらないように動作が遅くなったり、パソコンの向き（立てて置くなど）によっては保護のため電源が切れたりする場合があります。

● 磁気を発生するものおよび磁気カードなどから離れた場所
- 磁石、磁気ブレスレットを近づけないでください。
- 本機は右図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。
- 右図のAの位置に磁気を発生するものを近づけないでください。
工場出荷時の設定では、本機のディスプレイを閉じるとディスプレイが消えスリープ状態になります。
Aの位置に磁気を発生するものを近づけると、ディスプレイが閉じられたと判断しディスプレイが消え、スリープ状態になる場合があります。

長時間連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

使用中に本機が熱いと感じたら

CPUの動作などにより本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。
特にインテル® WiDiを使って外部ディスプレイに画面を表示していると、CPUに負荷がかかるため本機が熱くなる場合があります。
インテル® WiDiを使うと、ケーブル接続なしでパソコンの画面を外部ディスプレイに表示することができます。テレビなどの大画面にパソコンの画面を表示して複数の人で見る場合などに便利です。

- 電源プランを[パナソニックの電源管理（放熱優先）]に設定してください。
[パナソニックの電源管理（放熱優先）]に設定すると、次の設定などが変更されます。
  - ファン制御モードが[高速]に変更。
  冷却ファンの回転が高速になり、本機の温度を下げることができます。ただし、バッテリーの駆動時間が短くなります。
  - スクリーンセーバーを表示しない設定に変更。
  - その他、内部LCDの輝度を下げたりします。

  CPUの使用率が高くない場合や、冷却ファンの回転音などが気になる場合は、必要に応じて次の手順でファン制御モードを[標準]または[低速]に設定してください。
  デスクトップ画面右下の通知領域の をクリックして をクリックし、[ファン制御モード]をクリックして[標準]または[低速]をクリックする。

重 要

●アプリケーションソフトによっては、処理が遅くなる場合があります。その場合は、[パナソニックの電源管理（標準）]に戻してください。

• 無線LANをご利用にならない場合は、無線LANの電源を切ってください。

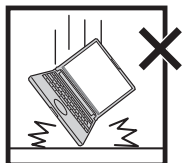
●**メモリーを増設する場合は当社推奨のRAMモジュールをお使いください。**
推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、発熱量が大きくなったり、正常に動作しなかったりする場合があります。

●1カ月に一度程度、ダストカバー内部のお手入れをしてください。（➡12ページ）

ACアダプターは、使用中熱くなりますが異常ではありません。

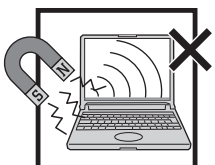
内蔵ハードディスクのデータ保護

データ保護のために次のことをお守りください。

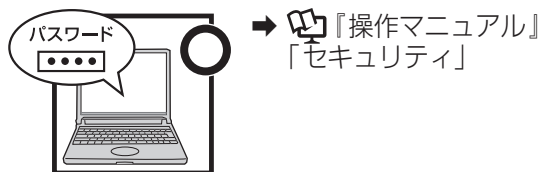
●**パソコン本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。**

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

●**Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびアクセスランプ の点灯中は、電源を切らない。**

ハードディスクのトラブルを避けるため、(チャーム)-[設定]-[電源]-[シャットダウン]で電源を切ってください。

●**磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**

ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。

●**データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**

➡ 『操作マニュアル』「セキュリティ」

『ハードディスクの取り扱いについて』もご覧ください。（➡17ページ）

Windows 8プリインストールモデルのサポート情報

次のWebサイトでWindows 8に関する注意事項など、Windows 8プリインストールモデルのサポート情報が入手できます。
http://askpc.panasonic.co.jp/win8/

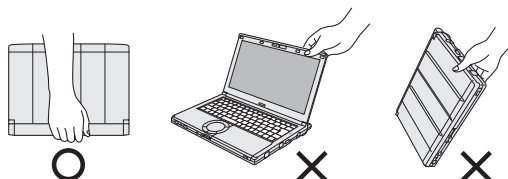
持ち運ぶとき

お守りください

●本機は、ハードディスクドライブなどへの衝撃が小さくなるように設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。本機は精密機器ですので、取り扱いには十分注意してください。

●電源を切る。

●USB機器やケーブル、本体から突き出たものなどをすべて取り外す。

●ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。

●落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。

●航空機利用時は次のことを守る。
• (チャーム)-[設定]-[PC設定の変更]-[ワイヤレス]-[機内モード]で機内モードをオンに設定する。
• パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
• 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。

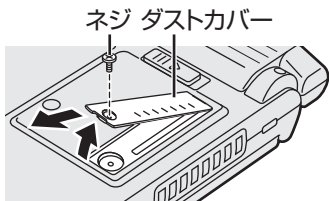
使用上のお願い

●液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているときは、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お勧めします

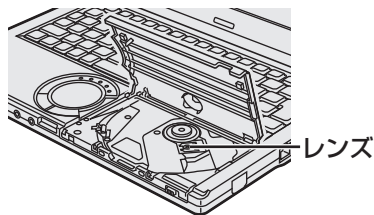
●ACアダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。
●予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。
●SDメモリーカード、USBメモリー、外付けハードディスク（いずれも別売り）などにデータのバックアップを取る。

お手入れ

●ディスプレイやホイールパッドのお手入れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
●ディスプレイ表面に水滴や汚れなどが付いたらすぐにふき取ってください。放置するとディスプレイ表面に跡が残ることがあります。
●ディスプレイ以外の部分やホイールパッドに汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。
●ダストカバー内部の清掃方法
1カ月に一度程度清掃してください。
① パソコン本体の電源を切り（➡23ページ）、ACアダプターを取り外す。
② ディスプレイを閉じ、パソコンを裏返す。
③ バッテリーパックを取り外す。
④ ネジを取り外してダストカバーを引き抜いて外す。

⑤ ダストカバー内部を清掃する。

重 要

●洗剤は使用しないでください。
●エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
●ダストカバー内部にほこりや綿くずが堆積している場合は、掃除機などを用いて吸い出してください。
●ほこりなどを吸い込まないようご注意ください。
●ダストカバー内部に液体をこぼしたり、ネジを落とさないでください。
●清掃による故障の場合、保証期間にかかわらず修理は有償となりますのでご注意ください。

●CF-SX2シリーズをお使いの場合、内蔵CD/DVDドライブのレンズのクリーニングには、カメラ用のレンズブロアーを使用してください。スプレー式の強力なものは使わないでください。

重 要

●ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
●水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

気温が高い場所でお使いになる場合

● 気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。
● CF-SX2シリーズを使って気温が高い場所で連続してDVDへの書き込みを行った場合、書き込み時間が長くなることがありますので、DVDへの書き込みの間隔をあけてお使いください。（ディスク（CDやDVDなど）への書き込みは、スーパーマルチドライブ搭載モデルのみ可能です）

バッテリー状態表示ランプが点灯しないとき

● ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。
電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。
それでもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
● バッテリーが満充電の場合、本機が動作していないとき（電源オフ、スリープ状態、休止状態のとき）はACアダプターからの電力供給を停止して消費電力を抑制します。このような状態でACアダプターを接続すると、ランプは緑色に点灯しますがしばらくすると消灯します。
● ミニACアダプターを付属しているモデルのみ
ミニACアダプターを使用している場合、電源オン時は、バッテリーを充電できませんのランプは点灯しません。

周辺機器の使用について

パソコン本体、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。
● 仕様に適合した周辺機器を使用する。
● コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
● 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。
● 固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
● ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

また、本書および『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

リカバリーディスクは大切に保管してください

リカバリーディスクは、ハードディスクから再インストールを実行できない場合などに必要です。

リカバリーディスクは本機で作成することができます。作成したリカバリーディスクを大切に保管してください。
作成方法については、『取扱説明書 基本ガイド』の「リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。

表記やご注意事項

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線LANのセキュリティに関する設定は行われていません。
無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。
➡ 『操作マニュアル』「無線機能」の「接続の設定をする」
無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。その反面、ある範囲であれば障害物（壁など）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
- IDやパスワード
- クレジットカード番号などの個人情報
- メール内容

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

USB機器への充電について

本機の「電源オフ中のUSB充電の設定」を有効にすると、本機の電源をオフにしても常時給電機能付きUSB3.0ポートに電力が供給され、USB機器に充電ができます。
ACアダプターやミニACアダプターを接続しない場合は、本体バッテリーから電力を供給して、USB機器に充電します。
➡ 『操作マニュアル』「周辺機器」「USB機器を充電する」の「電源オフ時の充電設定をする」

●USBポートに異物を挿入しないようご注意ください。
●設定を有効にした場合、ACアダプターを接続しないと、バッテリーの消費が早くなりますのでご注意ください。

省電力設定について

本製品は、デバイスへのアクセスや操作がない状態が一定時間続いたときに省電力機能が働くなど、国際エネルギースタープログラムに準拠した電力管理が工場出荷時に設定されています。本機を使用していない間の消費電力を削減することができます。

●工場出荷時の設定については、「スリープ状態／休止状態に移行するまでの時間を変更／無効にする」をご覧ください。（➡38ページ）
●スリープ／休止状態から復帰する方法については、『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「スリープ状態／休止状態を使う」をご覧ください。

音声や動画について

- AVIファイルを再生する場合
アプリケーションソフトをたくさん起動するなどしてパソコンに負荷がかかっている場合や気温が高い場所で使っている場合、AVIファイルの再生時に音声や映像が途切れることがあります。このときは、次の操作を行うと改善される場合があります。
  - 使っていないアプリケーションソフトを閉じる。
  - 使用環境温度を低くする。
  - 電源プランを[高パフォーマンス]に変更する。（気温が高い場所でお使いの場合は、使用環境温度を低くしたうえで[高パフォーマンス]に設定してください。気温が高い場所では、[高パフォーマンス]に設定しても改善されません。）
- SDメモリーカードに保存されている動画ファイル（MPG、WMVなど）や音声ファイル（MP3、WMAなど）を再生すると、音声や映像が途切れる場合があります。
その場合は、ハードディスクにファイルをコピーして再生してください。

表記について

Enter	キーボードのEnterキーを押すこと。
Fn + F5	キーボードのFnを押しながら、F5を押すこと。 Fnと Ctrlの機能を入れ換えてお使いの場合（➡54ページ）は、Fnと Ctrlを置き換えてご覧ください。
（チャーム）-［設定］	ポインターを画面右上隅（または右下隅）に合わせ、そのまま右端に移動して、「チャーム」を表示し、［設定］をクリックすること。
➡	参照先
📖	画面で見るマニュアルのこと。

● 本書では、コンピューターの管理者の権限でサインインした場合の手順や画面表示で説明しています。

標準ユーザーのアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、コンピューターの管理者の権限でサインインして操作してください。

● 本書では、「Windows® 8 Pro 64ビット」および「Windows® 8 64ビット」を「Windows」または「Windows 8」と表記します。

● 本書では、内蔵の光学ドライブ（スーパーマルチドライブなど）を「CD/DVD ドライブ」と表記します。

● 本書では、内蔵のCD/DVD ドライブの種類によって説明が異なるため、次のような表記で区別しています。
- 「DVD-ROM ドライブ搭載モデル」とは、DVD-ROM ドライブが内蔵されているモデルのことです。
- 「スーパーマルチドライブ搭載モデル」とは、スーパーマルチドライブが内蔵されているモデルのことです。

「仕様」でお持ちのパソコンがどちらのモデルか確認してください。
CF-NX2シリーズにはCD/DVD ドライブが搭載されていません。

● 本書では、搭載されている機能によって説明が異なるため、次のような表記で区別しています。
- 「WiMAX搭載モデル」とは、WiMAXが内蔵されているモデルのことです。
- 「ハードディスクドライブ搭載モデル」とは、フラッシュメモリードライブではなくハードディスクドライブが内蔵されているモデルのことです。
- 「フラッシュメモリードライブ搭載モデル」とは、ハードディスクドライブではなく、フラッシュメモリードライブが内蔵されているモデルのことです。

本書では、「ハードディスクドライブ」および「フラッシュメモリードライブ」を総称して「ハードディスクドライブ」と表記する場合があります。

「仕様」でお持ちのパソコンがどのモデルか確認してください。

● 本書では、接続する外部ディスプレイによって説明が異なるため、次のような表記で区別しています。
- 「アナログディスプレイ」とは、外部ディスプレイコネクターに接続した外部ディスプレイのことです。
- 「HDMI対応ディスプレイ」とは、HDMI出力端子に接続した外部ディスプレイ（テレビを含む）のことです。

● 本書では、次のアプリケーションソフトを省略して表記します。
- 「CyberLink PowerDVD」を「PowerDVD」

● 別売りの商品について

本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

● 再インストールについて

再インストールとは、ハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

再インストールを実行するとハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

<u>お客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。</u>

再インストールの方法や確認事項については「再インストールする」（➡88ページ）をご覧ください。

画面で見るマニュアルの見方

次のマニュアルは本機に保存されています。Windowsのセットアップ（➡『取扱説明書 基本ガイド』）が終わった後に見ることができます。

『操作マニュアル』『困ったときのQ&A』を見る

1 スタート画面の［マニュアル選択ユーティリティ］をクリックする。

マニュアル選択ユーティリティが起動されます。
この画面でご覧になりたいマニュアルを選択して［開く］をクリックしてください。
- 『操作マニュアル』を見る場合は、画面上部の［操作マニュアル］をクリックしてください。
- 『困ったときのQ&A』を見る場合は、画面上部の［困ったときのQ&A］をクリックしてください。

● マニュアル選択ユーティリティ画面で「バッテリー等の上手な使い方」を選択して［開く］をクリックすると、『操作マニュアル』の「バッテリー」が表示されます。

● マニュアル選択ユーティリティ画面で「セキュリティについて」を選択して［開く］をクリックすると、『操作マニュアル』の「セキュリティ」が表示されます。

『ハードディスクの取り扱いについて』を見る

ハードディスクの取り扱いについて説明しています。
ハードディスクドライブ搭載モデルのみ表示されます。

1 （スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで［すべてのアプリ］をクリック）-［マニュアル選択］-［ハードディスクの取り扱いについて］をクリックする。

『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』を見る

内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法などを説明しています。

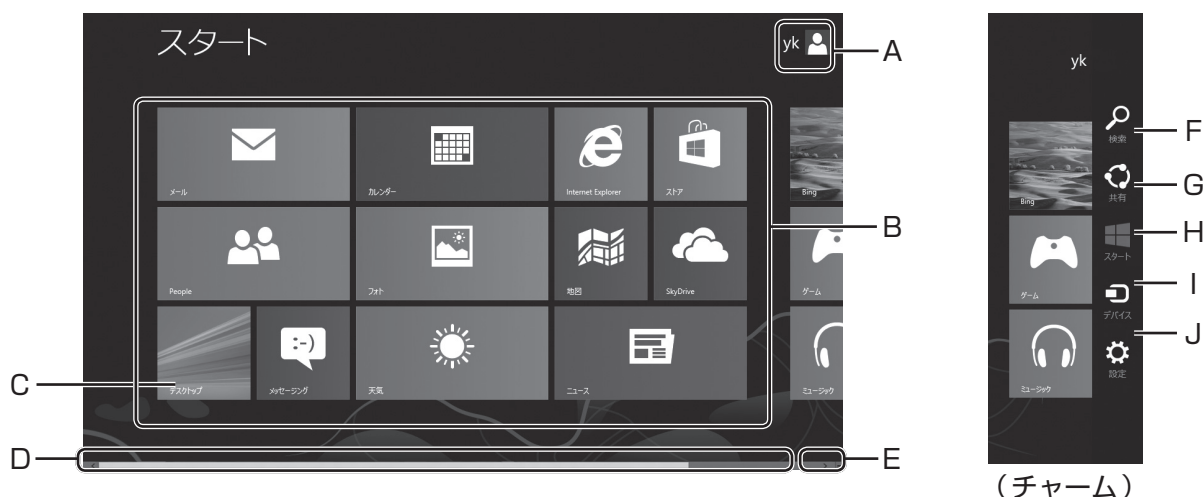
1 マニュアル選択ユーティリティ画面で「内蔵セキュリティーチップ（TPM）ご利用の手引き」を選択して［開く］をクリックする。

Windowsのヘルプを見る

1 （チャーム）-［設定］-［ヘルプ］をクリックする。

スタート画面の表示について

スタート画面

（チャーム）

A ユーザー名
サインインしたユーザーの名前と写真です。複数のユーザーがサインインしている場合、ここを右クリックして、ユーザーの切り替えができます。

B タイル
ひとつひとつが、パソコンにインストールされているプログラムを示します。
ただし、すべてのプログラムがタイルになっているわけではありません。

C [デスクトップ]のタイル
このタイルをクリックすると、デスクトップ画面に切り替わります。

D スクロールバー
ポインターを画面下端に合わせると表示されます。
左右の < > をクリックしたり、スクロールバーをドラッグして、表示画面を左右に移動します。

E ボタン
クリックするとスタート画面が縮小表示されます。
縮小表示のタイルからは、プログラムを起動することはできません。
元に戻すには、任意の場所を右クリックします。

チャーム

スタート画面やデスクトップ画面のときに、ポインターを画面右上隅（または右下隅）に合わせ、そのまま右側に移動すると表示します。

F 検索
クリックすると検索画面が表示されます。
[アプリ]、[設定]、[ファイル]など、検索の対象を選び、文字を入力して検索できます。

G 共有
写真やWebのページなど、人と共有したい情報をメールで送るなどの操作ができます。

H スタート
スタート画面に切り替えます。

I デバイス
使いたいデバイスにアクセスします。
例えば、フォトで写真を表示中にプリンターにアクセスして印刷する、といった操作が簡単に行えます。

J 設定
ネットワークへの接続、音量の調節、パソコンのシャットダウンや再起動などの操作ができます。
Windows 8対応のプログラムを実行中は、そのプログラムの設定ができます。

スタート画面とデスクトップ画面の切り替え

■ スタート画面で

デスクトップのタイルをクリックすると、デスクトップ画面に切り替わります。

デスクトップのタイルをクリック

■ デスクトップ画面で

ポインターを画面左下隅に合わせ、表示されるスタート画面のサムネイル（縮小画面）をクリックするとスタート画面に切り替わります。

スタート画面のサムネイルをクリック

メモ

ショートカットキーによる切り替え

スタート画面からデスクトップ画面に切り替えるには[Windows]+[D]を押します。

デスクトップ画面からスタート画面に切り替えるには[Windows]を押します。

デスクトップ画面の表示について

スタート画面の「デスクトップ」をクリックすると、Windows 7と同様のデスクトップ画面を表示します。

表示例	名　称	働き
など	デスクトップのアイコン	ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。
カスタマイズ...	通知領域（デスクトップ画面右下） をクリックすると、隠れていたアイコンが表示されます。	表示されるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。通知領域には一部のアイコンのみ表示されます。本書で説明しているアイコンが表示されていない場合は、をクリックして表示させてください。（本書で説明しているアイコンは、各種機能の設定や接続している機器など、環境によって、種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。）

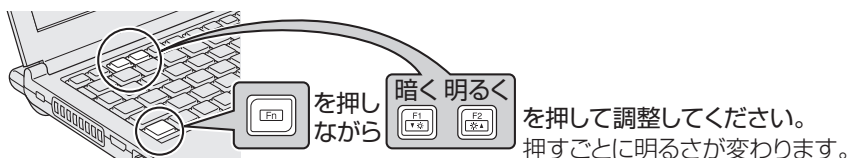
通知領域のアイコン（表示されていない場合は、をクリックすると表示されます）

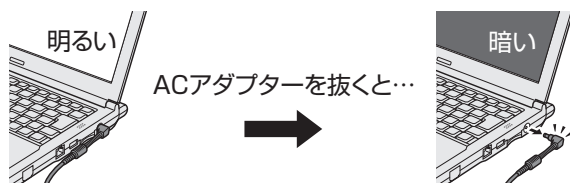
アイコン	名称と役割
または	スピーカー（音量の設定）
など	ネットワーク接続（有線LANや無線LANの接続設定に使用） ➡『操作マニュアル』「インターネット」または「無線機能」
または	「バッテリ メーター」（ACアダプターを接続するとが表示。「バッテリ メーター」の表示や電源オプションの調整に使用） ➡『操作マニュアル』「バッテリー」の「駆動時間について」
または	アクションセンター（セキュリティなどに関する設定状態の確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「セキュリティ」の「アクションセンター」
	無線ツールボックス（IEEE802.11aの有効/無効の切り替えに使用） ➡『操作マニュアル』「無線機能」
または	ポインティングデバイス（ホイールパッドの各種設定に使用）
または	ホイールパッドユーティリティ（ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用） ➡『操作マニュアル』「ホイールパッド」
	Realtek HDオーディオマネージャ（サウンドの詳細設定）
	電源プラン拡張ユーティリティ（電源プランの切り替えや各種省電力の設定に使用） ➡『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」
	PC情報ポップアップ（Web更新情報やバッテリーに関する情報などを表示） お使いの機種によって機能が異なります。 ➡『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」
	ネットセレクター3（ネットワークへの接続や接続時の設定の切り替えに使用） ➡『操作マニュアル』「インターネット」の「ネットワーク接続を自動で切り替える」
	プロジェクターヘルパー（表示モードの切り替えや画面設定の保存/復元に使用） ➡『操作マニュアル』「アプリケーションソフト」の「プロジェクターヘルパー」
または	画面分割ユーティリティ（画面分割ユーティリティを起動している場合のみ表示。画面表示の分割に使用） ➡『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「画面表示を分割する」

アイコン	名称と役割
または	USB3.0ポート（常時給電機能付き）の充電設定を行います。 ➡ 『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を充電する」
	（Bluetooth搭載モデルのみ） 他のBluetooth機器とデータを交換できます。
や　など	ピークシフト制御ユーティリティ（ピークシフト制御の有効/無効の切り替えや設定画面の表示に使用） ➡ 『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「電力を上手に使う（ピークシフト制御）」
または	Hotkey設定（Hotkey設定画面で[Fnキーの状態を画面に表示する]にチェックマークを付けている場合のみ表示。Fnキーのロック状態の確認に使用） ➡ 『操作マニュアル』「ポインティングデバイス/キーボード」の「Hotkey設定」
または	USBキーボードヘルパー（USBキーボードヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。USBキーボードを接続すると、テンキーモードに切り替わります。） ➡ 『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を接続する」
	ディスプレイヘルパー（ディスプレイヘルパーをセットアップしている場合のみ表示。外部ディスプレイ接続時、拡張デスクトップモードでのウィンドウ操作に使用） ➡ 『操作マニュアル』「周辺機器」の「アナログディスプレイを使う」または「HDMI対応ディスプレイを接続する」
	スマートアーチ（スマートフォンからパソコン操作をする） ➡ 『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「スマートフォンと連携する」
	インテル(R) HDグラフィックス

画面の明るさを調整する

明るくすると、バッテリーの駆動時間は短くなります。

を押して調整してください。
押すごとに明るさが変わります。

ACアダプターを抜くと暗くなる

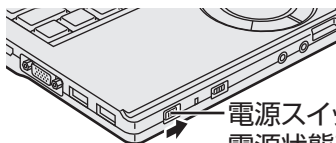
工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。
画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

ACアダプターを抜くと暗くなるのは、ACアダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを、パソコンが別々に覚えているためです。また、明るさの調整は電源プランでも設定できます。（電源プランごとに設定可能）
Fnキーで明るさを調整すると、電源プランで設定した明るさも連動して変更されます。
詳しくは『困ったときのQ&A』「液晶/画面表示」「明るさが変わった（暗くなった/明るくなった）」の「電源プランで設定する」をご覧ください。

電源を入れる／切る

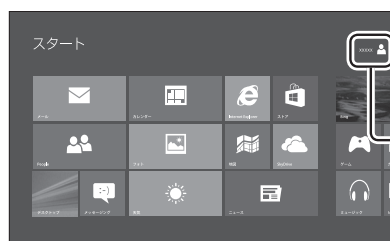
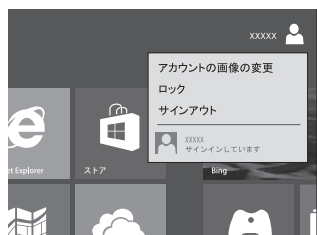
電源を入れる

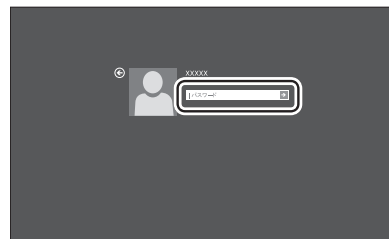
初めて電源を入れるときの操作は『取扱説明書 基本ガイド』をご覧ください。

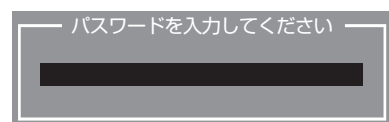
1 電源スイッチ⏻をスライドし、電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離す。

●電源スイッチを４秒以上スライドしたり、連続してスライドしたりしないでください。

●起動中（ポインターが◌から通常のもの↖に戻り、アクセスランプ🛢が消えるまで）は、次のことをしないでください。
- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。
- CF-SX2シリーズをお使いの場合は、ドライブオープンスイッチを操作する。
- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを抜き挿しする。

2 Windowsにサインインする。

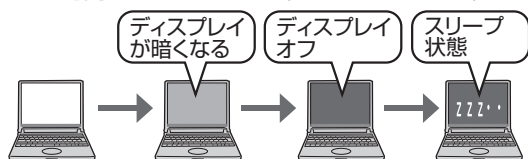
ユーザーを切り替えるときは…

ユーザーアカウントのアイコンをクリック

●切り替えたいユーザーのアイコンをクリックする。

パスワードを設定している場合は…

パスワードを入力してください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。
文字入力の設定がキャップスロックやテンキーモード（➡『取扱説明書 基本ガイド』）になっていないことを確認してください。

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…

本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力し Enter を押してください。正しく入力すると起動します。
３回間違えるかパスワードを入力せずに約１分経過すると、電源が切れます。

画面の表示が消えたら…

お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと省電力機能が働き、画面が暗くなったり画面の表示が消えたりします。
ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
また、本機を操作しないと、スリープ状態に入ります。電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。（➡40ページ）

一定時間アクセスがないと（工場出荷時の設定）

スリープ中に電力の供給がなくなると、
保持されていたデータは失われます。
ACアダプターを接続しておくことをお勧めします。

電源を切る

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。

2 電源を切る。

① チャームの「設定」をクリックする。
② 「電源」を選び「シャットダウン」をクリックする。（起動し直したい場合は「再起動」をクリックする。）

3 電源状態表示ランプが完全に消灯してからディスプレイを閉じる。

重 要

- **電源が切れるまでは、次のことをしないでください。**
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
  - CF-SX2シリーズをお使いの場合は、ドライブオープンスイッチを操作する。
- **電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。**
- **長時間ご使用にならないときは**
  - 節電のため、パソコン本体の電源を切り、ACアダプターを電源コンセントから抜いてください（電源コンセントに接続したままにしておくと、ACアダプター単体で最大0.3Wの電力を消費しています）。
  - パソコン本体の電源が切れている状態でもパソコン本体は電力を消費します。長時間ご使用にならなかった場合は、次回お使いになる前にバッテリーを充電するか、ACアダプターを接続してください。
    バッテリー残量保持期間は下記の表のとおりです。

席を外すなど、操作を中断する

「スリープ状態」または「休止状態」の機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます（➡38ページ）。

- Fn ＋ F7 を押すと、スリープ状態になります。
- Fn ＋ F10 を押すと、休止状態になります。
- 電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。

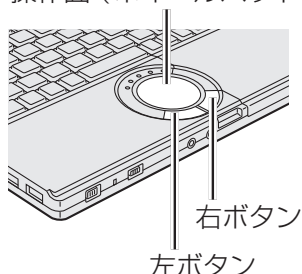
●バッテリー残量保持期間

バッテリーパックの種類	バッテリーパック（L）	バッテリーパック（S）
スリープ状態※1	約7日 （LAN Wake Up機能有効時：約5日）	約3.5日 （LAN Wake Up機能有効時：約2.5日）
	スリープ状態でバッテリー残量がなくなると保持されていたデータは失われます。	
休止状態	約40日 （LAN Wake Up機能有効時：約10日）	約20日 （LAN Wake Up機能有効時：約5日）
電源オフ	約40日 （Power On by LAN機能有効時:約10日）	約20日 （Power On by LAN機能有効時：約5日）

上記の値は、USB機器を充電していない場合の保持期間です。
LAN Wake Up機能有効時でも、LANケーブルを接続していない場合は少し長くなります。
LAN Wake Up機能およびPower On by LAN機能については、『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「他のパソコンから本機をリジューム/起動する」をご覧ください。
※1 メインメモリー標準8 GB搭載モデル（拡張メモリースロットにRAMモジュールの増設なし）の場合は保持期間が短くなります。

詳しい使い方

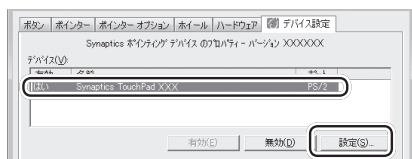
ホイールパッドを使う

マウスと同じようにポインターを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
使い方については、『取扱説明書 基本ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」をご覧ください。
お使いのネットワーク環境によっては、ホイールパッドユーティリティの起動に1分以上かかる場合があります。

ホイールパッドの感度を調節する

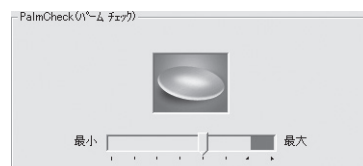
「PalmCheck™（パームチェック）」と「タッチ感度」の2つの感度を調節することで、ホイールパッドを使いやすく設定することができます。

1 （スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックする。

2 [デバイス設定]をクリックする。

3 [デバイス]内のデバイス名（例：Synaptics TouchPad）をクリックして、[設定]をクリックする。

4 [ポインティング]をダブルクリックし、[感度]をダブルクリックして、[PalmCheck（パームチェック）]または[タッチ感度]をクリックする。

●PalmCheck（パームチェック）

キーボード操作時、ホイールパッドを操作するつもりがないのに手のひらがホイールパッドに触れてポインターが動いてしまう場合に調節します。

- スライドバーを[最大]側へドラッグすると、意図していないときにポインターが動いてしまうことを防ぐことができます。
- スライドバーを[最小]側へドラッグすると、手のひらがホイールパッドに軽く触れても、ポインターが動くようになります。

●タッチ感度

指がホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動いてしまう場合、またはホイールパッド上で指を動かしてもポインターがなかなか動かない場合に調節します。

- スライドバーを[重く]側へドラッグすると、ホイールパッドに強く触れないとポインターが動かなくなります。
- スライドバーを[軽く]側へドラッグすると、ホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動くようになります。

5 調節した後、[OK]をクリックする。

6 「マウスのプロパティ」画面で、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの有効 / 無効を切り替える

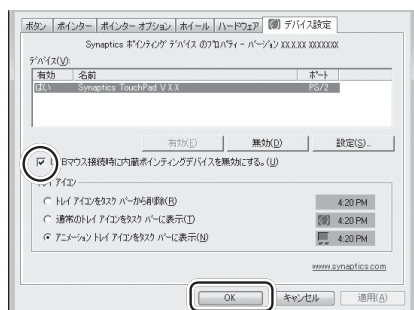
USBマウスの抜き挿しに連動してホイールパッドの有効 / 無効を切り替えることができます。

重 要

- 次の場合は、この機能が動作せずUSBマウス接続時もホイールパッドが有効になります。
  - Windowsを起動した直後
  - ユーザーの簡易切り替えやサインアウトを行ったときに表示されるユーザーの切り替え画面やロック画面
- マウス接続用のPS/2ポートを内蔵したUSBキーボードを接続した場合、USBキーボードにマウスを接続していなくても、ホイールパッドは無効になります。
- 「ホイールパッドユーティリティの設定」画面の[ホイールパッド機能を使用する]にチェックマークが付いていても、USBマウス接続時はホイールパッドおよびスクロール機能を使うことができません。
- USBマウスによってはこの機能が動作しない場合があります。

1 (スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックする。

2 [デバイス設定]をクリックする。

3 [USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの取り扱い

ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。

- 操作面に物を置いたり、爪など先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。
- ホイールパッドに汚れが付着した場合、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か、水で薄めた台所用洗剤(中性)を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコール、中性の台所用洗剤以外の洗剤(弱アルカリ性洗剤など)を使用すると、塗装がはげるなど塗装面に影響を与えることがあります。使用しないでください。

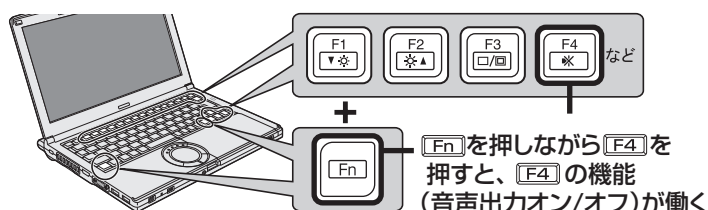
メ モ

ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、(スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック)-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

Fnキーを使う

『操作マニュアル』「ポインティングデバイス/キーボード」の「Fnキーを使う」では、さらに詳しく説明しています。

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーなどを押すと、次の表のような機能が働きます。

● FnとCtrlの機能を入れ換えてお使いの場合（➡54ページ）：
Fnの代わりにCtrlを押してください。

キー	機能	画面表示
Fn＋F1 Fn＋F2	内部LCDの明るさを調整します。 Fn＋F1（暗くする）/Fn＋F2（明るくする）	
Fn＋F3 または ⊞＋P （Windows起動後）	キーを押すと右の画面が表示され、外部ディスプレイを接続している場合は画面の表示モードを切り替えることができます（Fn＋F3を押して表示モードを選んだ後、Enterを押すまで切り替わらない場合があります）。3つのディスプレイに画面を同時表示することはできません。	PC画面のみ 複製 拡張 セカンドスクリーンのみ
Fn＋F4	スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。ビープ音が鳴る設定に変更していても、音声出力をオフにするとビープ音も鳴らなくなります。	24 オン オフ（ミュート）
Fn＋F5 Fn＋F6	スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn＋F5（小さくする）/Fn＋F6（大きくする）	24
Fn＋F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスリープ状態に入ります。	–
Fn＋F8	プロジェクターヘルパーを使って保存した画面の設定（表示モードと画面の解像度やリフレッシュレートなど）を復元します。表示された「プロジェクターヘルパー」画面で復元する設定を選び、[OK]をクリックしてください。	–
Fn＋F9	バッテリーの残量を表示します。	バッテリー残量: 99%
Fn＋F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	–
Fn＋F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	–

キー	機能	画面表示
Fn ＋ F12	画面全体をクリップボードにコピーします。（PrtSc） Fn ＋ Alt ＋ F12 を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	–
Fn ＋ NumLk Fn ＋ Ins Fn ＋ Del	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn ＋ NumLk ：ScrLk　Fn ＋ Ins ：Pause Fn ＋ Del ：Break	–
Fn ＋ ←	最初のページに移動またはポインターを行の先頭に移動（Home）	–
Fn ＋ →	最後のページに移動またはポインターを行の最後に移動（End）	–
Fn ＋ ↑	前のページに移動（PgUp）	–
Fn ＋ ↓	次のページに移動（PgDn）	–
Fn ＋ Back space	Ctrl ＋ Alt ＋ Del と同じになります。	–

セキュリティについて

『操作マニュアル』「セキュリティ」では、さらに詳しく説明しています。

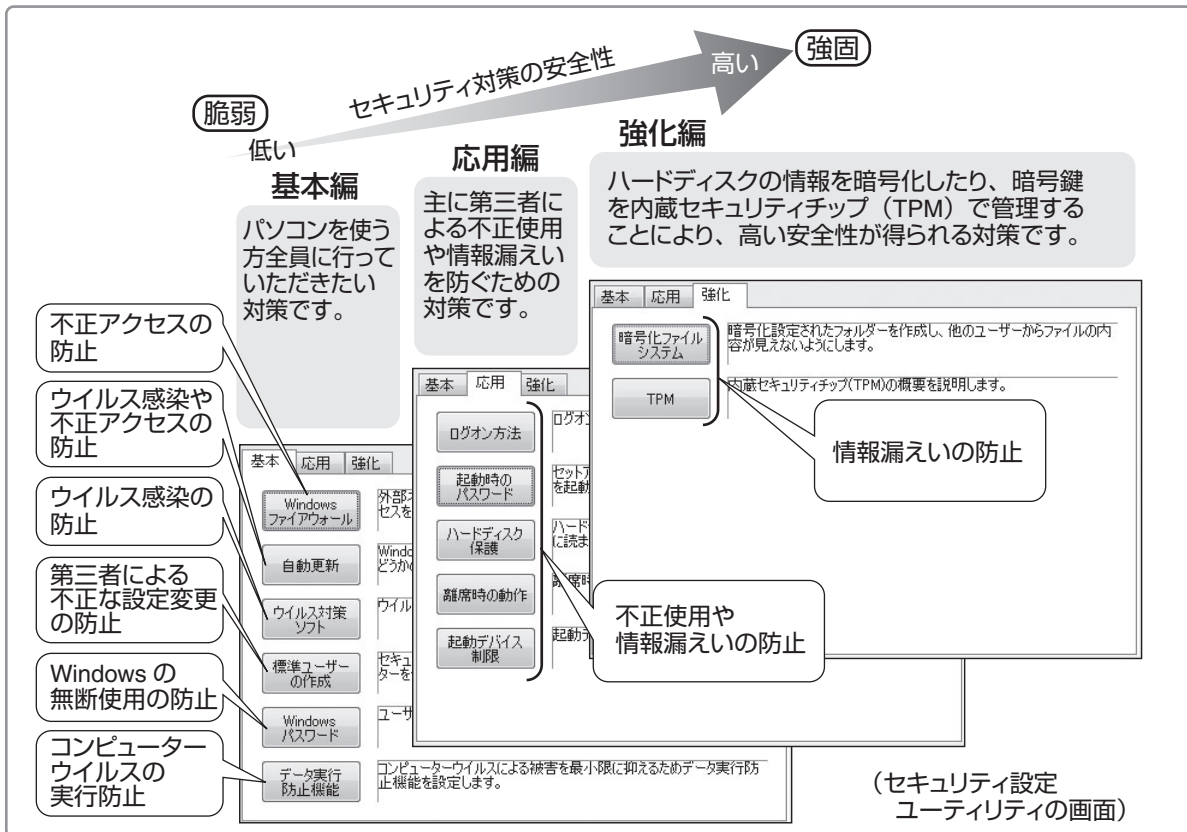
● **セキュリティ機能を使うときのお願い**

- お客さまが設定されたパスワードなどのセキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- 「パソコンが起動しない」や「インターネットにアクセスしたら、ウイルスに感染してしまった」など、思わぬトラブルや故障に備えて、大切なデータはバックアップを取り、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。
- 情報漏えいやウイルス感染などによる損害について、弊社では一切責任を負いかねます。

ステップ別セキュリティ対策

ここでは、ご利用の環境や用途に合わせて、お客さまに行っていただきたいセキュリティ対策を「基本編」「応用編」「強化編」のステップに分けて紹介します。ステップが進むほど安全性は高くなります。

- 「基本編」「応用編」「強化編」それぞれのセキュリティ対策から、必要なものを組み合わせて設定してください。
- 「強化編」にあるデータの暗号化だけでは、安全性は高くなりません。必ず「基本編」「応用編」のセキュリティ機能と組み合わせて使ってください。
- 会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。本書に記載している内容がすべての環境に適しているわけではありません。

（セキュリティ設定ユーティリティの画面）

セキュリティ設定ユーティリティで設定する

本機には、各種セキュリティ機能の一元管理や設定が簡単に行えるセキュリティ設定ユーティリティが用意されています。起動時のパスワードやハードディスク保護など、セキュリティ上重要な項目の解除はセキュリティ設定ユーティリティからは行えません。それらを解除する場合は、セットアップユーティリティで行ってください。（➡51ページ）

一部の設定項目については、保存しておくことができます。これにより、パソコンの使用状況に応じてセキュリティの設定を一括して切り替えたり、元の設定に戻すことができます。別のパソコンのセキュリティ設定ユーティリティで保存した設定を本機に読み込み、パソコンのセキュリティ設定の内容を合わせることもできます。

メモ

- セキュリティ設定ユーティリティ使用中は、セキュリティ設定ユーティリティで設定できる機能を、個別に設定したり変更したりしないでください。
- Windowsのパスワード／標準ユーザーの作成について
- Windowsのセキュリティを安全性の高い設定にしていたり、他のセキュリティソフトを使っていたりすると、作成するパスワードやユーザーアカウントに特定の条件（文字数や複雑さなど）が必要になる場合があります。
- パスワードの入力は、大文字／小文字の違いに注意してください。
  Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックにしていたり、NumLkを押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力／設定されてしまうおそれがあります。
- Windowsのパスワードとして、漢字などの全角文字は入力できません。
- 一部のユーザーアカウントは、Windowsのシステム設定によって、表示されない場合があります。
- パソコンまたはご使用のアカウントがドメインに参加している場合、セキュリティ設定ユーティリティはご使用いただけません。

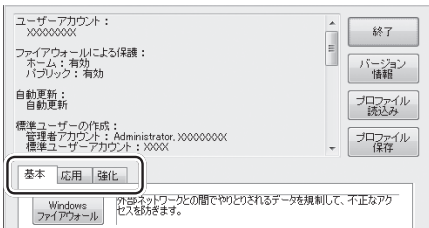
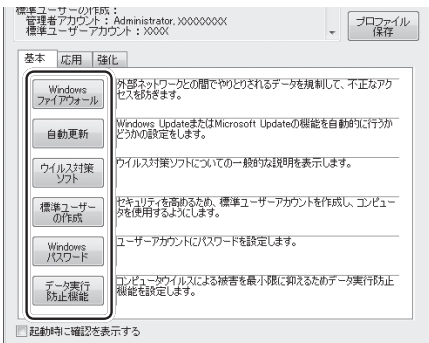
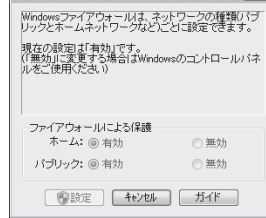
セキュリティについて

1 (スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック)-[セキュリティ設定ユーティリティ]をクリックする。

Windowsの動作上重要な項目を設定/変更する場合は、管理者のユーザーアカウントでサインインして、操作してください。標準ユーザーでサインインしたり、必要な設定がされていなかった場合、設定できない項目はグレー表示になり、設定や変更ができません。

2 「ご利用確認」画面の内容をよくお読みのうえ、[はい]をクリックする。

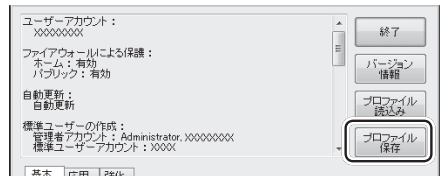
[いいえ]をクリックした場合、セキュリティ設定ユーティリティはお使いいただけません。

3 設定するセキュリティを[基本]、[応用]、[強化]から選択する。

4 設定する項目をクリックする。

[Windowsファイアウォール]をクリックした場合は、次の画面が表示されます。

以降は画面の指示に従ってください。

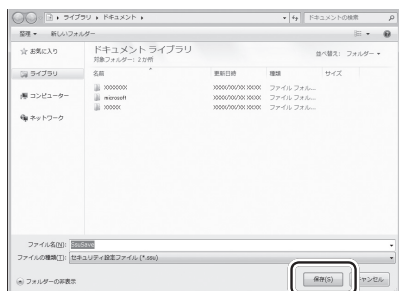
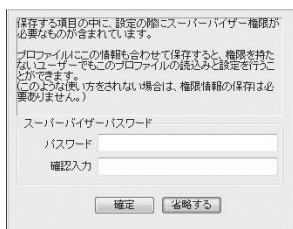
5 設定が終わったら、[終了]をクリックする。

セキュリティの設定内容を保存する

現在設定されている内容を保存します。

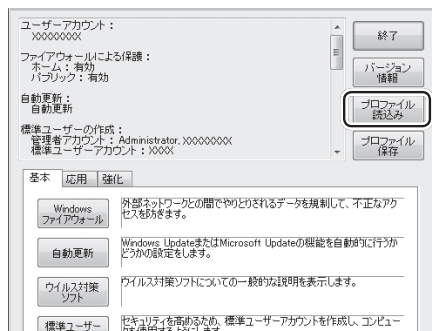
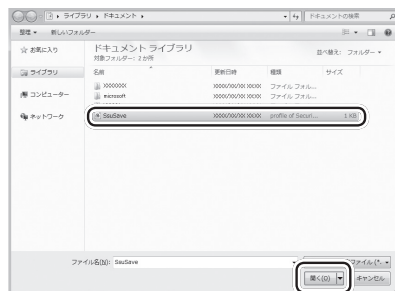
1 [プロファイル保存]をクリックする。

2 保存する項目をクリックしてチェックマークを付け、[保存]をクリックする。

- 保存できない項目はグレーで表示されます。

3 保存するフォルダーを選択し、[保存]をクリックする。

各機能を設定するときにスーパーバイザーパスワードが必要となる項目を保存する場合は、次の画面が表示されます。

- 項目を入力し、[確定]をクリックするとスーパーバイザーパスワードがプロファイルに保存されるため、読み込み時にパスワードの入力が不要になります。
- [省略する]をクリックするとパスワードなどはプロファイルに保存されません。読み込み時にパスワードの入力が必要になります。

セキュリティの設定内容を読み込む

設定内容を読み込み、セキュリティの設定を反映します。

1 [プロファイル読込み]をクリックする。

2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

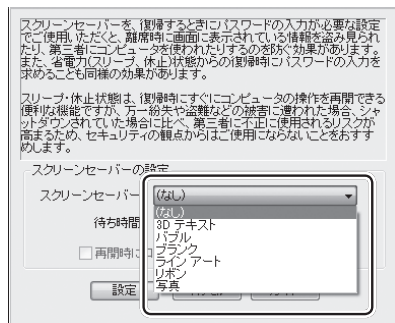
- 設定が読み込まれます。
  保存時に、「権限情報の保存」画面で[省略する]をクリックした設定を読み込んだ場合は、スーパーバイザーパスワードの入力画面が表示されます。
- 画面に実行結果が表示されます。

セキュリティについて

重 要

- **以下の機能を解除する設定は、セキュリティの問題上保存できません。**
  - **Windows ファイアウォール**
  - **データ実行防止機能**
  - **ハードディスク保護**
- **設定済みの起動時のパスワード（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード）は、読み込み時に変更することはできません。**
- **以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときにスーパーバイザーパスワードの入力が必要です。**
  - **データ実行防止機能**
  - **ハードディスク保護**
- **以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときに管理者のユーザーアカウントが必要です。**
  - **Windows ファイアウォール**
  - **自動更新**
  - **標準ユーザーの作成**
  - **サインイン方法**
- **暗号化ファイルシステムで暗号化したフォルダーを複数作成した場合、最後に作成したフォルダーの情報のみ保存されます。**
- **読み込みの結果は、「ドキュメント」フォルダーに ssulog.txt というファイル名で保存されます。**

メ モ

- セキュリティ設定ユーティリティを起動せずに設定を読み込むこともできます。正常に読み込みと設定が行われた場合は実行結果が表示されません。
  - 保存した設定のファイルをエクスプローラーなどでダブルクリックする。
  - セキュリティ設定ユーティリティを起動するときに引数で指定する（ネットワーク管理者向け）。
    ワイルドカードは使用できません。
- [離席時の動作] で設定されるスクリーンセーバーについて
  Windows のシステムフォルダーにインストールされているスクリーンセーバーを一覧で表示します。一覧に表示された識別名またはファイル名を選択してください。

マカフィー・アンチセフトについて

（マカフィー・アンチセフト導入済みモデルのみ）
マカフィー・アンチセフトは、インテル・アンチセフトテクノロジーを使用したパソコンの盗難防止対策製品です。
紛失したパソコンをリモートからチップセットレベルでロックし、Windows を起動させないようにするため、第三者にパソコン内のデータが盗まれることを防止します。
マカフィー・アンチセフトをご使用になる場合、マカフィー社との有料契約が必要です。
マカフィー・アンチセフトの登録を促す画面が定期的に表示されますので必要に応じてご契約ください。

バッテリーについて

『操作マニュアル』「バッテリー」では、さらに詳しく説明しています。

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として一般社団法人電子情報技術産業協会の「JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」（以降、JEITA 測定法と表記）を採用しています。

重 要

本書やカタログなどに記載のJEITA 測定法に基づいて測定された数値は、画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたり、アプリケーションソフトをたくさん起動していたりすると、駆動時間はJEITA 測定法の駆動時間より短くなります。

バッテリー駆動時間の測定方法

JEITA 測定法に基づいて測定された数値は、次の2つの方法でバッテリーが動作する時間を測定し、その平均を取った値です。

● **負荷をかけた状態での測定方法（測定法 a）**
内部 LCD の輝度（明るさ）を20cd/m² 以上に設定し、指定の動画ファイル（MPEG1形式）をハードディスクから読み出しながら再生し続ける。

輝度の設定方法（20cd/m² 以上に設定）
① （スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで [すべてのアプリ] をクリック）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[バッテリ設定の変更] をクリックする。
② お使いの電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。
③ [詳細な電源設定の変更] をクリックし、[ディスプレイ] をダブルクリックする。
④ [ディスプレイの明るさ] をダブルクリックし、各項目を20%に設定して [OK] をクリックする。
（20%に設定することで、20cd/m² 以上に設定されます）

● **負荷をかけない状態での測定方法（測定法 b）**
内部 LCD の輝度を最も暗い状態に設定し、デスクトップ画面を表示したまま放置する。

輝度を最も暗い状態に設定する方法
① （スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで [すべてのアプリ] をクリック）-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[バッテリ設定の変更] をクリックする。
② お使いの電源プランの [プラン設定の変更] をクリックする。
③ [詳細な電源設定の変更] をクリックし、[ディスプレイ] をダブルクリックする。
④ [ディスプレイの明るさ] をダブルクリックし、各項目を0%に設定して [OK] をクリックする。

駆動時間を長くするには

次のようなことを行うことで、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

● 電源プランを [パナソニックの電源管理（省電力）] に変更する。
パフォーマンスを抑えて電力を節約します。
● Fn ＋ F1 で内部 LCD の明るさを暗くする。
● CF-SX2 シリーズをお使いの場合は、次の手順でCD/DVD ドライブの電源をオフしてください。
①デスクトップ画面右下の通知領域の をクリックして をクリックする。
②[オプティカルディスクドライブの電源] をクリックし、[手動切替] の [オフ] をクリックする。
[オン] が表示されている場合は、CD/DVD ドライブの電源がすでにオフになっています。
● スリープ状態 / 休止状態を活用する。
パソコンからしばらくの間離れるときは、Fn ＋ F7 でスリープ状態、または Fn ＋ F10 で休止状態にしてください。
● しばらく使わないときはディスプレイの電源を自動的に切るように設定する。
● 通信しないときは無線切り替えスイッチで無線機能の電源を切る。

詳しい使い方

バッテリーについて

●使わない周辺機器（USB機器、外部マウスなど）は取り外す。
●CPUに大きな負荷がかかるアプリケーションソフトを使用しない。

バッテリーパックの劣化を抑える

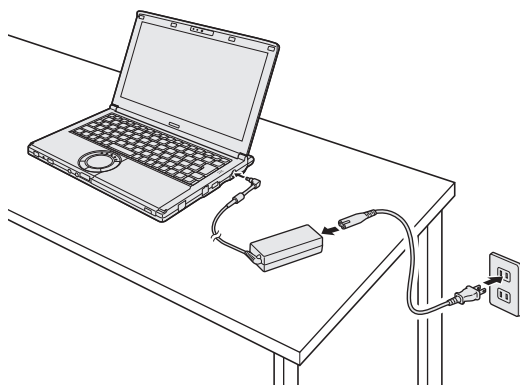
バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの耐久年数は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーパックの劣化を抑え、耐久年数を少しでも長くするためには、次の点をお勧めします。

●バッテリーのエコノミーモード（ECO）を有効にする。
●周囲の温度が10℃～30℃の場所で充電する。
●バッテリーの充電は1日1回以内。
●パソコンの電源を切った状態で充電する。

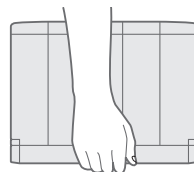
バッテリーのエコノミーモード（ECO）

バッテリーのエコノミーモード（ECO）を有効にすると、バッテリーの充電を満充電の80%までで停止します。100%（満充電）にしないことでバッテリーパックへの負担を軽減して劣化を防ぎ、バッテリーパックの耐久年数を長くします。工場出荷時は、バッテリーの駆動時間を優先してバッテリーのエコノミーモード（ECO）は無効に設定されています。
使い方に合わせてバッテリーのエコノミーモード（ECO）を切り替え、バッテリーを上手にお使いください。

ACアダプターを接続して使うことが多いとき

●バッテリーのエコノミーモード（ECO）有効

- 満充電の80%までで充電を停止するため、バッテリーパックの劣化が抑えられます。
- 長時間のバッテリー駆動が必要でない場合にお勧めします。

持ち運ぶことが多いとき

●バッテリーのエコノミーモード（ECO）無効

- 100%まで充電できます。
- バッテリーの駆動時間を優先するときにお勧めします。

バッテリーのエコノミーモード（ECO）の切り替え

デスクトップ画面右下の通知領域のをクリックしてをクリックし、[バッテリーのエコノミーモード（ECO）]をクリックし、[有効]または[無効]をクリックしてください。

詳しい使い方

バッテリーの充電スピードについて

電源プラン拡張ユーティリティを使用してバッテリーの充電スピードを切り替えることができます。

① デスクトップ画面右下の通知領域の をクリックする。

② をクリックする。

③ [手動切替]の[バッテリー充電スピード]で、[標準]または[ゆっくり]をクリックして選択する。

[標準]は、本機での標準のスピードで充電を行います。[ゆっくり]は、本機での標準のスピードと比較して、ゆっくりと充電を行います。 約7時間を要します※1。充電に使用する電流値を低くし、ACアダプターの表面温度上昇を抑えます。
充電スピードが、[標準]、[ゆっくり]のいずれもACアダプターの表面は熱くなりますが、異常ではありません。
ただし、この機能は電源プランに連動しません。
(工場出荷時は[標準]に設定されています。)
※1 ACアダプターを使用した場合

バッテリーパックの交換について

バッテリーパックの交換は電源を切ってから行ってください。
ミニACアダプターを接続して本機の電源がオンしている場合、バッテリーパックを抜くと、電源が切れて異常終了します。

ミニACアダプターを付属しているモデルのみ

ミニACアダプターについて

概要

ミニACアダプターは、バッテリー駆動時のバッテリーパックの電力消費を抑えることを主目的とし、使用可能な電力を抑える代わりに小型軽量化した電源です。(モバイル用途に特化したアシスト用電源です。)
本機が動作中のときは、バッテリーへの充電はできません。また、動作状況によっては、バッテリーを消費します。
本機が、スリープ状態、休止状態、または電源オフの場合のみ充電可能です。
バッテリーの充電スピードの「ゆっくり」で充電します。

Windowsのセットアップ時

ミニACアダプターは使用せず、必ずACアダプターをご使用ください。

電源オフ中のUSB充電

電源オフ中のUSB充電を有効にしている場合は、バッテリーパックが満充電になるまではUSB充電されません。
(本機がスリープ状態、休止状態、または電源オフで、ミニACアダプターを接続している場合、本機のバッテリーパックが満充電になってからUSB充電が開始されます。)

➡ 『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を充電する」

Windowsの表示する電池駆動時間

ミニACアダプター接続中はバッテリーパックの消費が少なくなるため、バッテリー駆動時間が「残り：800時間」などと大きな値が表示されますが、異常ではありません。

アプリケーションなどのメッセージ

- アプリケーションなどで「ACアダプターを接続してください」と表示された場合には、ミニACアダプターではなくACアダプターを接続してください。
- アプリケーションによっては、「アシスト電源」「小型ACアダプター」と表示される場合があります。

ピークシフト機能

ピークシフト機能を有効に設定しても動作しません。

その他

バッテリーパックを外してミニACアダプターのみで使用することはできません。
ミニACアダプターを接続して本機の電源がオンしている場合、バッテリーパックを抜くと、電源が切れて異常終了します。

ACアダプター / その他

ACアダプターについて

● 本機のACアダプターは、待機電力を削減する機能を持っています。

● 電源オフ時や休止状態中にバッテリーが満充電になると、待機電力を削減するモードになります。
ただし、以下の場合を除きます。
  - LAN Wake Up機能有効の場合
  - Power On by LAN機能が有効の場合（➡56ページ）
  - AMT設定によるPower Onが有効な場合
  - 電源オフ時に、USB機器を充電する場合
    ➡ 『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を充電する」

● 待機電力をカットするモードになると、「バッテリー状態表示ランプ」（➡『取扱説明書 基本ガイド』）が消灯します。
バッテリーが満充電のときにACアダプターを接続すると、「バッテリー状態表示ランプ」はいったん緑色に点灯し、数秒後に消灯します。（待機電力をカットするモードに入るため）
また、上記の状態でもバッテリーは自然放電するため、長時間放置すると、バッテリー残量が一定量に低下した時点で自動的に再充電され「バッテリー状態表示ランプ」が点灯し、満充電後には消灯します。

電源オフ時のUSB機器への充電とピークシフト制御との関連

電源オフ時のUSB機器への充電（『操作マニュアル』「周辺機器」の「USB機器を充電する」）が有効になっている場合でも、ピークシフト期間かつACアダプターが接続されている場合は、USB機器には充電しません。

詳しい使い方

スリープ状態 / 休止状態を使う

しばらく席を外すなど、一定時間操作しないときは、スリープ状態や休止状態を使って消費電力を抑えることができます。
アプリケーションソフトを終了することなく電源を切るため、電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示されます（これを「リジューム」といいます）。このため、すぐに操作を始めることができます。

スリープ状態と休止状態の違い

機能	状態の保存先	リジュームまでの時間
スリープ状態	メモリー	短い
休止状態	ハードディスク	やや長い

機能	ACアダプターの接続またはバッテリーパックの取り付け
スリープ状態	必要： スリープ状態のときに電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
休止状態	不要： データ保持のために電力は必要ありません。しかし、ACアダプターを接続またはバッテリーパックを取り付けているとき、本体は電力を消費します。

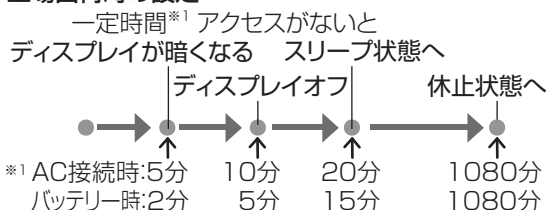
重 要

電源が切れている状態でも電力を消費します。バッテリー残量保持期間については、23ページをご覧ください。

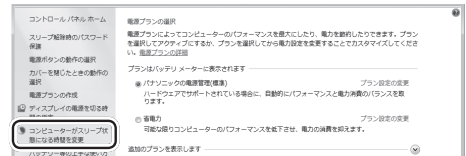
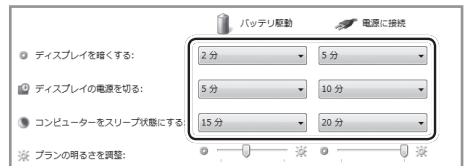
スリープ状態 / 休止状態に移行するまでの時間を変更 / 無効にする

工場出荷時は、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、スリープ状態 / 休止状態に移行します。移行するまでの時間は変更することができます。また、ディスプレイの電源が切れるまでの時間変更もできます。

工場出荷時の設定

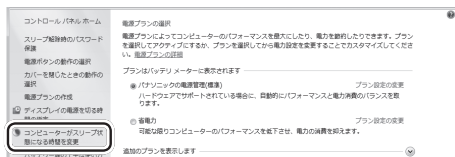
一定時間※1 アクセスがないと

スリープ状態に移行する時間を変更する場合は手順1から、休止状態に移行する時間を変更する場合は手順1の後、手順5から行います。

1 **デスクトップ画面右下の通知領域の またはをクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。**

2 **[コンピューターがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。**

3 **[ディスプレイを暗くする]、[ディスプレイの電源を切る]または[コンピューターをスリープ状態にする]までの時間を設定する。**

- ディスプレイを暗くしないようにするには[ディスプレイを暗くする]を[適用しない]に設定します。
- スリープ状態に移行しないようにするには[コンピューターをスリープ状態にする]を[適用しない]に設定します。
- ディスプレイの電源が切れないようにするには、[ディスプレイの電源を切る]を[適用しない]に設定します。

4 **[変更の保存]をクリックする。**

スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間が変更になる場合があります。
次の手順で休止状態に移行する時間を確認してください。

5 **[コンピューターがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。**

6 **[詳細な電源設定の変更]をクリックする。**

7 **[スリープ]をダブルクリックする。**

ここで休止状態へ移行する時間を確認/変更する電源プランを選択することもできます。

8 **[次の時間が経過後休止状態にする]をダブルクリックする。**

9 **項目をクリックし、休止状態へ移行するまでの時間を確認/変更する。**

- 工場出荷時の設定(1080分)よりも長い時間に設定することをお勧めします。短く設定すると、スリープ状態から休止状態へ移行する頻度が高くなります。移行時はハードディスクにデータを書き込むため、持ち運んでいる場合などは振動が加わることもあり、故障の原因になる場合があります。短く設定した場合は、本機を持ち運ばないようにしてください。
- 休止状態に移行しないようにするには、移行するまでの時間を[なし]に設定します。

10 **[OK]をクリックする。**

メモ

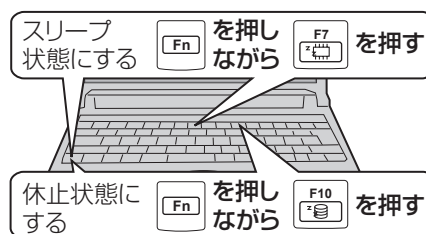
スリープ状態/休止状態に移行するまでの時間は、電源プランごとに設定できます。

スリープ状態/休止状態にする

スリープ状態/休止状態にするには、4つの方法があります。
休止状態になるまで1分～2分程度かかる場合があります。画面には何も表示されませんが、そのままお待ちください。

重要

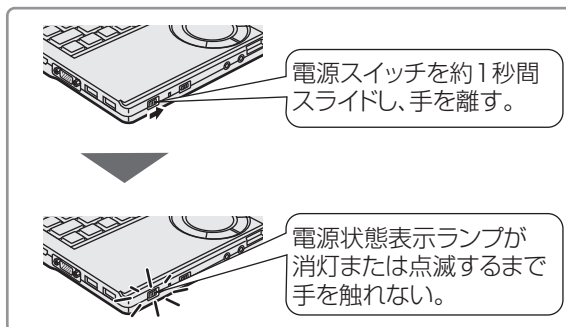
気温が高い場所でCPUに負荷のかかるアプリケーションソフトを連続して動作させた場合、内部温度制御機能が働き、休止状態に入る場合があります。
休止状態に入った場合は、しばらく(5分程度)してから電源を入れてください。

Fnキーを使う

Windowsの終了画面を使う

チャームの[設定]-[電源]を選び、[スリープ]をクリックします。
(この方法で[休止状態]は選べません)

詳しい使い方

スリープ状態 / 休止状態を使う

電源スイッチをスライドする

工場出荷時の設定では、電源スイッチを４秒以上スライドしたままにすると、スリープ状態 / 休止状態に移行せず電源が切れます（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。
省電力機能が有効に設定されているため、電源スイッチをスライドしてもビープ音が鳴りません。ビープ音を鳴らす場合は、『困ったときの Q&A』「画像 / 動画 / サウンド」の「音が出ない / ビープ音が鳴らない」をご覧ください。
ビープ音を鳴らす設定にしていても、Fn + F4 を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。また、Fn + F5 を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

● **設定を変更する**

設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態 / 休止状態には移行しません。

1. **（スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで [すべてのアプリ] をクリック）-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源ボタンの動作の変更] をクリックする。**
2. **[電源ボタンを押したときの動作] の設定を変更し、[変更の保存] をクリックする。**

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると、設定に従ってスリープ状態 / 休止状態に入ります（工場出荷時はスリープ状態に移行します）。
きちんとディスプレイを閉じていなかったり、ディスプレイを閉じた後すぐにディスプレイを開けたりすると、スリープ状態 / 休止状態に入らないことがあります。

● **設定を変更する**

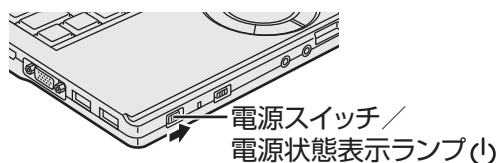
設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態 / 休止状態に入りません。

1. **（スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで [すべてのアプリ] をクリック）-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[電源ボタンの動作の変更] をクリックする。**
2. **[カバーを閉じたときの動作] の設定を変更し、[変更の保存] をクリックする。**

リジュームする（スリープ状態 / 休止状態からの復帰）

リジュームするには、２つの方法があります。
工場出荷時の設定では、スリープ状態 / 休止状態からのリジューム時に、サインインしているユーザーアカウントの Windows パスワードの入力が必要です。

電源スイッチをスライドする

詳しい使い方

ディスプレイを開ける

次の場合は、ディスプレイを開けるとリジュームします。
- [カバーを閉じたときの動作]を[スリープ状態]や[休止状態]に設定し、ディスプレイを閉じた場合
- スリープ状態/休止状態に入ってからディスプレイを閉じた場合

リジュームしない場合は、電源スイッチをスライドしてください。

メモ

●工場出荷時は、USBキーボードのキーを押したり外付けマウスをクリックしたりすると、スリープ状態からリジュームするように設定されています。
変更方法は、『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「スリープ状態/休止状態を使う」の「リジュームする(スリープ状態/休止状態からの復帰)」をご覧ください。

●リジューム後、Windowsの画面が完全に復帰して初期化などが完了するまで(画面が復帰して約15秒間/ネットワークに接続している場合は約60秒間)、Windowsの終了や再起動を行ったり、スリープ状態/休止状態機能を使用したりしないでください。

重要

セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで[復帰時のパスワード]を[有効]または[自動]に設定すると、休止状態からのリジューム時にもスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力が必要になります。
パスワード入力を3回間違えたり、1分以上放置したりして入力に失敗すると、次のような動作になります。
(このとき電源スイッチでオフすることはできません)

●休止状態からのリジューム時に失敗した場合:
- 次回起動時、「Panasonic」起動画面が表示されても、セットアップユーティリティを起動して設定を変更しないでください。以降、正しくリジュームできなくなる場合があります。
- ディスプレイを開ける方法やLAN Wake Up機能、タスクスケジューラーを使ってリジュームすることができなくなります。

使用上のお願い

スリープ状態/休止状態、リジュームについては、『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「スリープ状態/休止状態を使う」の「使用上のお願い」をよくお読みになってから、ご使用ください。

内蔵 CD/DVD ドライブ CF-SX2 シリーズのみ

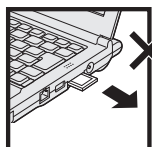
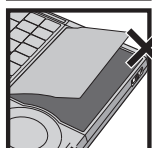
CD/DVD ドライブの取り扱い、本機で使えるディスクの種類、DVD を見る方法などについては、『操作マニュアル』「CD/DVD ドライブ」をご覧ください。

ドライブをお使いになる場所

油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
レンズの寿命が短くなることがあります。

ドライブアクセス中の操作について

ディスクカバーを開けたり、パソコンを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。
ディスクの損傷、読み出しや書き込みの失敗、故障の原因になります。

パソコンに衝撃を与えないでください。
データの読み出しや書き込みに失敗することがあります。

ケーブルやカードなどを抜き挿ししないでください。
データの読み出しや書き込みに失敗することがあります。

ディスクにアクセスするアプリケーションソフトを起動した後は、そのアプリケーションソフトを終了するまでディスクカバーを開けないでください。

ディスクカバーを強く押さないでください。

ドライブオープンスイッチを操作しないでください。

書き込みや書き換え作業が長時間に及ぶ場合は、AC アダプターを接続しておいてください。作業中にバッテリー切れが起きると書き込みに失敗する場合があります。
（ディスク（CD や DVD など）への書き込みは、スーパーマルチドライブ搭載モデルのみ可能です）

ドライブの作動音

次のような場合、CD/DVD ドライブからモーター音がします。

- CD/DVD ドライブの電源を入れた直後（ジーやキューンという音）
- セットアップユーティリティで [光学ドライブ電源] を [オン] に設定している状態で、パソコンの電源を入れた直後（ジーやキューンという音）
- CD/DVD 再生中（一定間隔で鳴るゴロゴロという小さな音）

これらは、CD/DVD ドライブのモーターが作動している音で、故障ではありません。

ドライブオープンスイッチの操作について

● パソコンの電源を入れた直後など、OS の起動処理中に CD/DVD ドライブのドライブオープンスイッチを操作すると、CD/DVD ドライブが認識されない場合があります。
この場合は、次の手順で [ハードウェア変更のスキャン] を実行してください。
① （スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで [すべてのアプリ] をクリック）-[コンピューター] をクリックする。
② [システムのプロパティ]-[デバイスマネージャー] をクリックする。
③ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] をクリックする。
標準ユーザーでサインインしている場合は、管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを入力して [はい] をクリックします。
④ 「デバイスマネージャー」画面で、一番上に表示されているコンピューター名をクリックし、[操作]-[ハードウェア変更のスキャン] をクリックする。

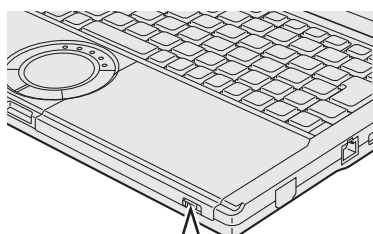
● ドライブオープンスイッチを操作した直後など、CD/DVD ドライブに頻繁にアクセスしている間は、PowerDVD を起動しないでください。

CD/DVD ドライブの電源をオフにしたとき

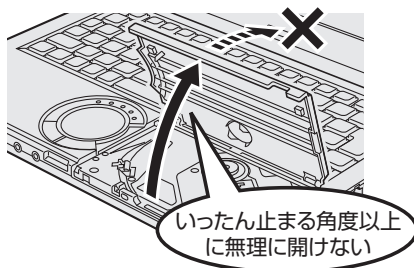
電源プラン拡張ユーティリティの[拡張設定手動一時切替]を使って電源をオフしたとき、「‘Slimtype DVDXXXXXXXXX’はコンピューターから安全に取り外すことができます」や「‘MATSHITA XXX XXXXXXX’はコンピューターから安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されることがありますが、CD/DVD ドライブは内蔵のため取り外すことはできません。

ディスクのセット/取り出し

1 Windows が起動している状態で、ドライブオープンスイッチを右にスライドする。

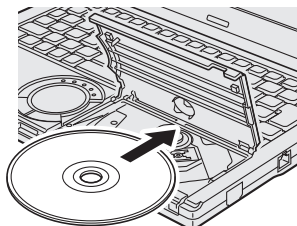
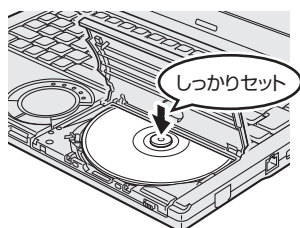
セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[光学ドライブ]が[無効]に設定されていると、ドライブオープンスイッチは使えません。
ピッという音が鳴った後、ディスクカバーが開くまで時間がかかります。しばらくお待ちください（Fn + F4 を押すなどしてスピーカーをオフにしている場合、音は鳴りません。Fn + F5 を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、音も小さくなります）。

ドライブオープンスイッチ

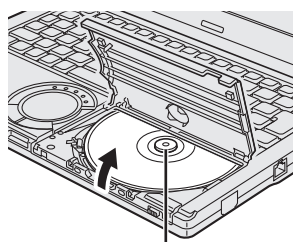
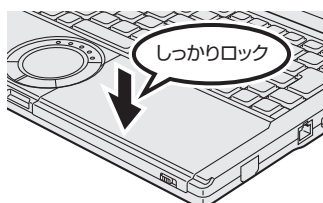
2 ディスクカバーを持ち上げる。

ディスクカバーの上に手を載せていたり、ディスプレイが閉じていたりしてディスクカバーが開かないと、ディスクが入った状態でも正しくアクセスできなくなります。その場合は、一度ディスクカバーを開け閉めするか、パソコンを再起動してから再度アクセスしてください。

3 ディスクをセットする/取り出す。

再生/記録面や、レンズなど光ピックアップ部に触れないでください。

● **ディスクをセットするとき**

① **タイトル面を上にして、ディスクをキーボードの下にすべり込ませる。**
変形したディスクは使用しないでください。

② **ディスクの中心部をカチッと音がするまでしっかりと押してセットする。**
ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないでディスクカバーを閉じると、ディスクが傷つくことがあります。

● **ディスクを取り出すとき**

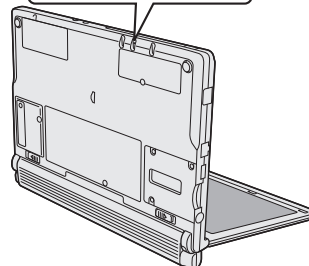
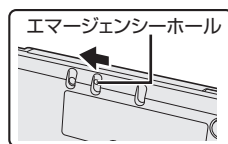
センターホルダーに指を添え、ディスクの端を浮かせながら取り出します。

4 ディスクカバーを閉じる。
ディスクカバーの中央付近（矢印の位置）を押してロックされたことを確認してください。

重 要

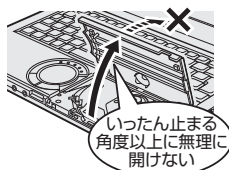
- **ディスクをセットした後、メディアが認識されるまでは、エクスプローラーなどでCD/DVD ドライブのアイコンをクリックしないでください。**
- **セットしたディスクによっては、ファイルへのアクセス中に自動実行が開始されることがあります。**
  また、ディスクから動画を再生したとき、滑らかに再生できないことがあります。
- **お買い上げ後および再インストール後に初めてCD/DVD ドライブの電源を入れると、CD/DVD ドライブを新しいデバイスとして認識します。認識の処理が完了するまで約30秒かかります。**
- **ディスクのセット/取り出し時は、ディスクに傷を付けないようご注意ください。**

メ モ

CD/DVD ドライブモーターの省電力モードについて
約30秒間 CD/DVD ドライブにアクセスがないと、省電力のために自動的にドライブモーターの電源が切れます。CD/DVD ドライブにアクセスがあるとドライブモーターの電源が入ります。電源が入った後、ディスクからデータが実際に読めるようになるまで、約30秒かかる場合があります。

ディスクカバーが開かないとき

ドライブオープンスイッチやアプリケーションソフトの操作を行ってもディスクカバーが開かないときや、パソコンの電源を入れないでディスクを取り出したいときは、クリップを引き伸ばしたものやボールペンの先などを底面のエマージェンシーホールに挿し込み、矢印の方向に動かしてください。

ディスクカバーを開いているとき

- ディスプレイを閉じない。
  必ずディスクカバーが閉じていることを確認してからディスプレイを閉じてください。液晶部分が傷つくことがあります。
- ドライブのすき間部分にクリップなどの異物を入れない。故障の原因になります。
- ディスクカバーがいったん止まる角度以上、無理に開けない。

手などが触れてそれ以上開いてしまった場合は、ストッパーが元に戻るまで、ゆっくりと手前に戻してください。

- ディスクカバーを開けたままで放置したり、レンズなど光ピックアップ部に触れたりしない。ゴミやほこりが付着し、データを読み取れなくなる場合があります。

CPRMで録画されたメディアの再生について

CPRMとは、録画制限のかかっているデジタル放送をDVD レコーダーでDVD-RAM、DVD-RおよびDVD-RW に録画する際に用いられる著作権管理技術のことです。
CF-SX2シリーズをお使いの場合、再生するにはインターネットに接続できる環境が必要です。一度インターネットに接続すると、自動的に認証されて再生できるようになります。次回からはインターネットに接続しなくても再生できます。

➡ 『操作マニュアル』「CD/DVD ドライブ」の「DVD-Videoを見る」

WiMAXを使う

接続ユーティリティーについては、『操作マニュアル』「無線機能」をご覧ください。

WiMAX通信の契約に関するご注意

下記のケースにおいて、WiMAX通信の契約解除の手続きを行っていただかないと、毎月の通信料金が継続して発生するおそれがあります。WiMAX通信の契約解除の方法につきましては、お客さまがご契約のWiMAX通信サービス提供会社さまへお問い合わせいただきますようお願いいたします。

<主なケース>

- WiMAXの通信機能が不要になった場合
- 本機の譲渡
- 本機の売却（リサイクル、オークションへの出品を含む）
- WiMAXの修理・交換
- 無線LANの修理・交換

インターネットに接続する

お買い上げ後、WiMAXを使って初めて通信を行うときは、WiMAX通信サービス提供会社との契約が必要です。WiMAXサービスエリア内で次の操作を行ってください。

重要

●WiMAXを使わないときは、WiMAXをオフにするか「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面で[切断]をクリックして通信を切断してください。通信を切断しなかった場合、ご契約の料金プランによっては通信料が高額になる場合があります。

1 **無線切り替えスイッチを右（ON側）にスライドする。**

2 **（チャーム）-[設定]-[PC設定の変更]-[ワイヤレス]で[Intel(R) WiMAX]をオンにする。**

- [WiMAX オン]および[WiMAX オフ]がグレー表示になってクリックできない場合は、セットアップユーティリティの「詳細」メニューの[無線LAN/WiMAX]が[無効]に設定されています。セットアップユーティリティを起動して[有効]に設定してください（初期設定は[有効]）。（➡56ページ）

重要

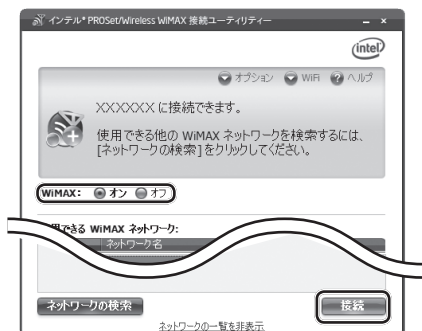
●WiMAXと無線LANは同じ通信モジュールを使用しているため、同時に使用することはできません。WiMAXをオンにすると無線LANは自動的にオフになり、無線LANをオンにするとWiMAXは自動的にオフになります。

3 **WiMAXサービスエリア内に移動する。**

通信可能エリアについては、以下のWebページをご確認ください。
http://www.uqwimax.jp/service/area/

4 **デスクトップ画面の（WiMAX接続ユーティリティー）をダブルクリックする。**

デスクトップ画面に（WiMAX接続ユーティリティー）が表示されていない場合は、（スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[インテル PROSet Wireless]-[WiMAX接続ユーティリティー]をクリックしてください。

5 「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面の[WiMAX:]が[オン]に設定されていることを確認し、[接続]をクリックする。

- [接続]をクリックして「UQ WiMAXに接続しています」と表示された場合は、[OK]をクリックしてください。しばらくすると、WiMAX通信サービス提供会社と契約するための「WiMAX統合ポータルスタートページ」が表示されます。
  使用状況によっては、「WiMAX統合ポータルスタートページ」が表示されるまで約5分かかる場合があります。また、自動的に表示されない場合があります。その場合は、[切断]をクリックして通信を切断し、再度[接続]をクリックしてください。
  「WiMAX統合ポータルスタートページ」が表示されたことを確認してください。
- [接続]がクリックできない場合は、WiMAXがオフに設定されている、またはサービスエリア外で操作している場合があります。画面の内容を確認してください。

6 WiMAX統合ポータルの画面でWiMAX通信サービス提供会社を選び、各社のオンライン契約画面の指示に従って必要事項の入力などを行う。

入力内容はWiMAX通信サービス提供会社によって異なります。詳しくは、WiMAX通信サービス提供会社へお問い合わせください。

7 デスクトップ画面の をダブルクリックする。

デスクトップ画面に （WiMAX接続ユーティリティー）が表示されていない場合は、（スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[インテルPROSet Wireless]-[WiMAX接続ユーティリティー]をクリックしてください。

8 [接続]をクリックする。

- [接続]がクリックできない場合は、WiMAXがオフに設定されている、またはサービスエリア外で操作している場合があります。画面の内容を確認してください。

メモ

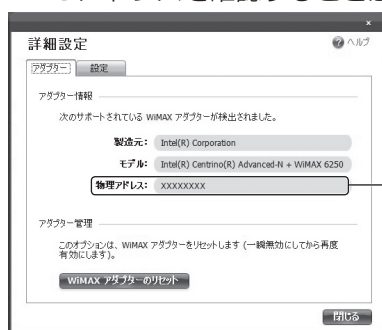
- WiMAXを使わないときは、WiMAXをオフにするか「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面で[切断]をクリックして通信を切断してください。
  通信を切断しなかった場合、スリープや休止状態に入った後にリジュームしたとき自動的に接続します（使用状況によっては、自動的に接続されない場合もあります）。
  通信を切断しなかった場合、ご契約の料金プランによっては通信料が高額になる場合があります。
- 契約は、WiMAXを使って初めて接続するときのみ必要です。2回目以降は、手順4～6は不要です。

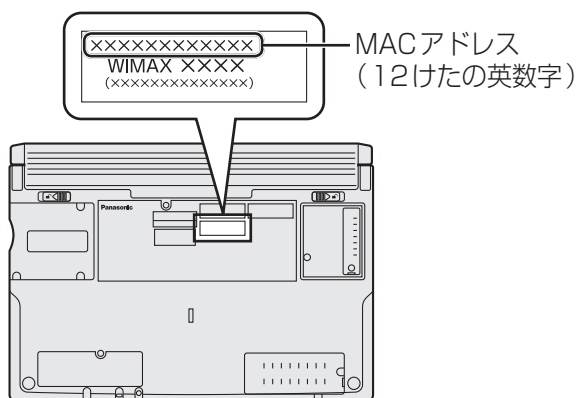
詳しい使い方

MACアドレスについて

パソコンの修理時など、事前にWiMAX通信サービス提供会社にMACアドレスを通知しなければならない場合があります。
次の手順でWiMAXのMACアドレスが確認できます。

1 **デスクトップ画面の（WiMAX接続ユーティリティー）をダブルクリックし、「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面にする。**

2 **[オプション]をクリックして、[詳細設定]をクリックする。**
MACアドレスを確認することができます。

MACアドレスはパソコン本体の底面にも記載されています。
パソコンの電源が入らないなど、「インテル® PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティー」画面を表示できない場合は、パソコン本体の底面で確認してください。
（イラストは一例です。記載位置はモデルによって異なる場合があります。）

詳しい使い方

メモリー容量を増やす

本機には拡張メモリースロットが１つ用意されています。RAMモジュールを増設して、搭載されているメモリー容量を増やすことにより、Windowsやアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます（お使いの使用条件により効果は異なります）。

重 要

次のことにご注意ください。

- RAMモジュールはCF-BAX04GUなどの推奨品をお使いください。
  推奨品については、弊社の最新のカタログやWebページでご確認いただけます。推奨以外のRAMモジュールを取り付けると、正常に動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
  また、場合によっては発熱によりカバーが変形する場合があります。
- 本機のRAMモジュールの仕様については、『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」をご覧ください。
- 推奨以外のRAMモジュールを使用した場合や誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。
  RAMモジュールの種類や取り付け方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。
  取り付け/取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- RAMモジュールの取り付け/取り外しは、パソコンの電源を切り、ACアダプターやバッテリーパックを取り外してから行ってください。
- ネジの溝をつぶさないよう、ネジの大きさに合ったドライバーをお使いください。

RAMモジュールの取り付け

1 RAMモジュール（別売り）を用意する。

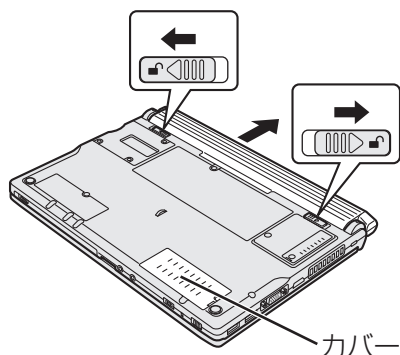
2 パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。

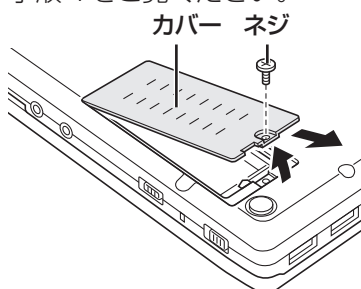
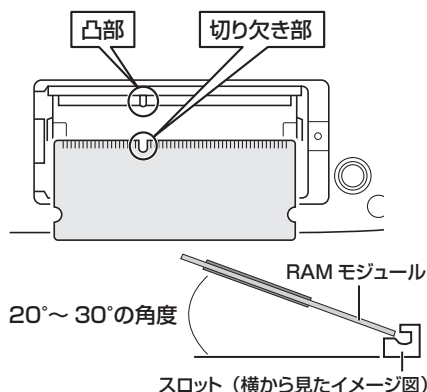
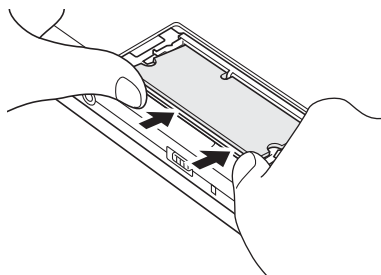
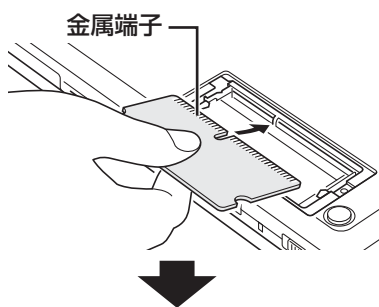
スリープ状態/休止状態のときに、取り付け/取り外しを行わないでください。

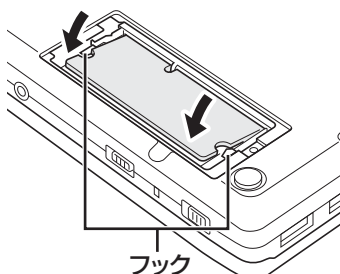
3 本体を裏返す。

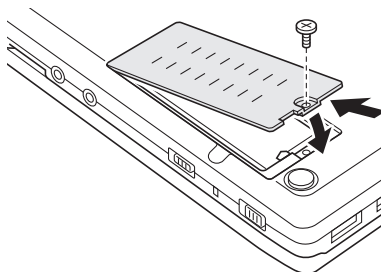
4 左右のラッチをロック解除 🔓 の方向にスライドした状態で、本体と平行にバッテリーパックを押し出す。

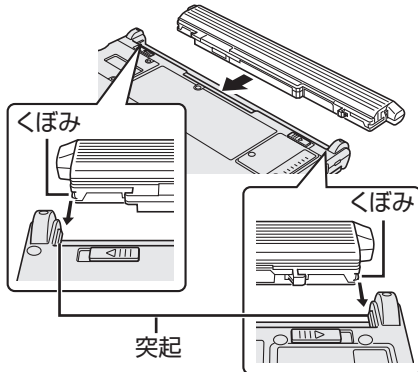
ラッチがロックされた状態で、無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが破損するおそれがあります。

詳しい使い方

5 ネジを取り外し、カバーを引き抜いて外す。

拡張メモリースロットのカバーの位置は、手順４をご覧ください。

6 スロットの凸部とRAMモジュールの切り欠き部の向きを合わせて持ち、スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。

7 金属の端子が見えなくなるまで、スロットと平行にしっかりと挿し込む。

- 挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
- しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

8 左右のフックでロックされるまで倒す。

倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

9 カバーを取り付け、ネジで固定する。

10 **バッテリーパックの左右にあるくぼみとパソコン本体の突起が合うように、矢印の方向に平行にスライドして取り付ける。**

バッテリーパックの向きに注意してください。

くぼみと突起が合わない場合は、いったん取り外し、バッテリーパックの先端が浮かないように上から軽く押しながらスライドしてください。

11 **バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認する。**

左右のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。左右のラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。

12 **ACアダプターを取り付ける。**

メモ

●RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、パソコンの電源を入れても画面に何も表示されない場合があります。その場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。

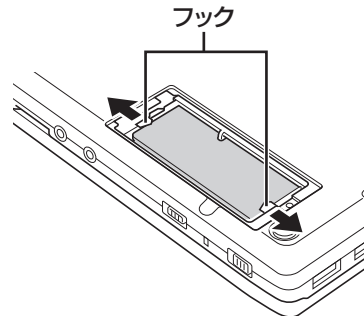
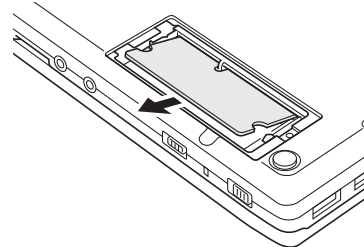
使用可能メモリーを確認する

増設した後の使用可能メモリーのサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニューの[使用可能メモリー]（➡54ページ）で確認できます。

RAMモジュールの取り外し

「RAMモジュールの取り付け」の手順2～5の後、次の手順で取り外してください。

1 **左右のフックを外側にゆっくりと広げる。**

RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

2 **ゆっくりとスロットから取り外す。**

3 **カバーとバッテリーパック、ACアダプターを取り付ける。（➡49ページ「RAMモジュールの取り付け」の手順9～12）**

詳しい使い方

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「起動」、「セキュリティ」、「終了」
モデルによって、表示される項目が異なります。

セットアップユーティリティを起動する/終了する

起動する

1. （チャーム）-[設定]-[PC設定の変更]-[全般]-[今すぐ再起動する]-[トラブルシューティング]-[詳細オプション]-[UEFIファームウェアの設定]-[再起動]をクリックする。
2. パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押す。

メモ

- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
  本機に外部ディスプレイを接続していても、内蔵LCD側に表示されるようになります。
  ただし、LID（カバー）を閉じると、外部ディスプレイ側に表示されるようになります。
- パスワードを設定していても[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。
  また、[再起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコンの再起動時にパスワードの入力は不要です。
  セットアップユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定時や入力時にテンキーモードまたはキャップスロックになっていると、その状態をお知らせする画面が表示されます。

Windowsが起動しないときは

1. パソコンの電源を切る。
2. 約10秒以上経過後、パソコンの電源を入れる。
3. 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押す。
4. パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、ユーザーパスワードまたはスーパーバイザーパスワードを入力し、Enterを押す。

終了する

1. ←→またはEscを押して、「終了」メニューを表示する。
2. [設定を保存して再起動]または[設定を保存しないで再起動]を選んでEnterを押す。
3. [はい]を選んでEnterを押す。

詳しい使い方

ユーザーパスワードで制限される項目

「起動する」(➡51ページ)の手順2で入力したパスワードの種類によって、表示/設定できる項目が異なります。

本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。管理者以外の人には、ユーザーパスワードだけを教えておきます。これにより、設定を変更されるのを防ぐことができます。

● **スーパーバイザーパスワードを入力した場合**

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

● **ユーザーパスワードを入力した場合**

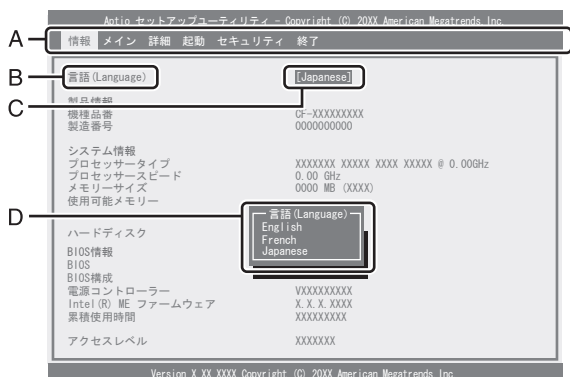
次のような制限があります(可能:○、不可能:×)。また、各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す F9 は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー:[起動オプション]	○	×
「起動」メニュー:[UEFI起動]	○	×
「起動」メニュー:[CSMサポート]	○	×
「起動」メニュー:[UEFI優先度]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[Boot Popup Menu]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[再起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[復帰時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[休止復帰時の起動デバイス]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ハードディスク保護]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード設定]	○	○※1
「セキュリティ」メニュー:[内蔵セキュリティ(TPM)]	○	×※2
「セキュリティ」メニュー:[AMT設定]	×※2	×※2
「セキュリティ」メニュー:[セキュアブート]	○	×
「終了」メニュー:[デフォルト設定]	×	×
「終了」メニュー:[デバイスを指定して起動]	×※3	×※3

※1 [ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

※2 サブメニューの[設定サブメニュー保護]が[保護しない]に設定されている場合は、設定サブメニューの参照/変更が可能([設定サブメニュー保護]を除く)。

※3 [Boot Popup Menu]が[有効]に設定されている場合は選択が可能。

セットアップユーティリティを操作する

A. [←] [→]を押してカーソルを移動させ、メニューを選ぶことができます。

B. 選択できる項目が複数ある場合は[↑] [↓]を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。

C. 反転表示されている項目は[Enter]を押してサブメニューを表示させることができます。

D. サブメニューが表示されているときは[↑] [↓]を押して項目を選ぶことができます。

設定に使うキー

[→] [←] ：「情報」「メイン」「詳細」「起動」「セキュリティ」「終了」の各メニューを選択。

[↑] [↓] ：カーソルを上下に移動（項目を選ぶときに使用）。

[Enter] ：[↑] [↓]で項目を選んだ後に設定できる各項目のサブメニューを表示。

[F5] ：各項目の前候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F6] ：各項目の次候補を選択（設定値の変更時に使用）。

[F1] ：一般のヘルプを表示（[OK]を選ぶとヘルプの画面を閉じる）。

[F9] ：各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す。

[F10] ：設定を保存して再起動。

[Esc] ：サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

セットアップユーティリティ

「情報」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
言語（Language）	セットアップユーティリティの言語を選択します。	English French Japanese
製品情報 機種品番 製造番号 システム情報 プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク BIOS 情報 BIOS BIOS 構成 電源コントローラー Intel(R) ME ファームウェア 累積使用時間 アクセスレベル	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。 一部の機種のみ表示。	

「メイン」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
システム日付	Tab でカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6 で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx(x)]
システム時間	24時間制です。Tab でカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6 で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

メニュー	働き	選択項目
フラットパッド	ホイールパッドを使う（有効）/使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/Ctrl キー	内部キーボードの Fn と Ctrl の機能を入れ換えずに工場出荷時のまま使う（標準）/入れ換えて使う（入れ換え）を設定します。 Fn Ctrl 機能入れ換えユーティリティでも設定することができます。	標準 入れ換え

メニュー	働き	選択項目
光学ドライブ電源（CF-SX2シリーズのみ）	起動時に、内蔵CD/DVDドライブの電源を入れる（オン）/入れない（オフ）を設定します。 ●[オン]に設定した場合、次回起動時に、内蔵CD/DVDドライブから起動（ブート）できるようになります。 内蔵CD/DVDドライブから起動するときは、[オン]に設定してください。ただし、「詳細」メニューの[光学ドライブ]が[無効]に設定されているときは、この項目は設定できません。 ●[オフ]の場合、Windowsが起動するまでディスクカバーを開くことができません。	オフ オン
充電中バッテリー状態表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する/明滅するを設定します。	点灯 明滅
LED輝度	電源状態表示ランプの明るさを設定します。[連動]では、内部LCDの明るさに合わせてランプの明るさが変わります。[減光]では常に暗くなります。	連動 減光

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
CPU設定	CPUの設定に関するサブメニューを表示します。 • データ実行防止機能 データ実行防止機能（プログラムのメモリー（バッファー）を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能）を使う（有効）/使わない（無効）を設定します。 通常は[有効]に設定しておいてください。 工場出荷時の設定は[有効]です。 • Intel(R) Hyper-Threading Technology Intel(R) Hyper-Threading Technologyを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Core Multi-Processing Core Multi-Processing（複数のプロセッサーコアによる処理の分散）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時のWindows 8使用時は[有効]のままお使いください。[無効]に設定した場合の動作はサポートしていません。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Intel(R) Virtualization Technology Intel(R) Virtualization Technologyを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[有効]に設定すると、Intel(R) Virtualization Technologyに対応した仮想化ソフトウェアを使用する場合に、CPUの負荷を軽減することができます。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Intel(R) VT-d Intel(R) Virtualization Technology for Direct I/Oを使用しない（無効）/使用する（有効）を設定します。工場出荷時の設定は[無効]です。（インテル® VT-dが使用できないモデルの場合は表示されません） • Intel(R) Trusted Execution Technology Intel(R) Trusted Execution Technologyを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。（インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できないモデルの場合は表示されません） 工場出荷時の設定は[無効]です。 [Intel(R) VT-d]が[有効]に設定されている場合のみ設定できます。 • Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0 Intel(R) Turbo Boost Technology 2.0を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

詳しい使い方

周辺機器設定

メニュー	働き	選択項目
光学ドライブ（CF-SX2シリーズのみ）	内蔵 CD/DVD ドライブを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
LAN	内蔵 LANの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
Power On by LAN機能	LAN経由でパソコンの電源を入れるPower On by LAN機能を使用しない（禁止）/使用する（許可）を設定します。LAN経由で電源を入れた場合、起動時のパスワード入力画面は表示されなくなります。	禁止 許可
無線設定	搭載されている無線機能の設定に関するサブメニューを表示します。 • 無線 LAN/WiMAX（WiMAX搭載モデルの場合） 内蔵無線 LANおよびWiMAXの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 • 無線 LAN（WiMAXが搭載されていないモデルの場合） 内蔵無線 LANの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 • Bluetooth（Bluetooth搭載モデルのみ） Bluetoothの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。工場出荷時の設定は[有効]です。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
SDスロット	SDメモリーカードスロットを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
USBポート	本機のUSBポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
左手前ポート設定	本機のUSB3.0ポートで一部の機器が動作しないとき、[USB2.0]に切り替えてご確認ください。	USB3.0 USB2.0
左奥ポート設定		USB3.0 USB2.0
レガシー USB	Windowsが起動する前に、USBキーボードやUSBフロッピーディスクドライブ、USB CD/DVD ドライブなどを本機に認識させる機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[USBポート]が[有効]時のみ、設定できます。 [無効]に設定した場合でも、USBキーボードを使ってセットアップユーティリティを操作することができます。	無効 有効
カメラ	カメラを「有効」または「無効」に設定します。	無効 有効

「起動」メニュー

メニュー	働き	選択項目
Boot Mode	Boot Modeを低速にしない（通常）/一部のUSB機器に対応するためBoot Modeを低速にする（互換）を設定します。「通常」の設定では、Windowsの起動画面が表示されるまでの時間を短縮します。セットアップユーティリティを起動する場合は、（チャーム）-[設定]-[PC設定の変更]-[全般]-[今すぐ再起動する]-[トラブルシューティング]-[詳細オプション]-[UEFIファームウェアの設定]-[再起動]をクリックする。 USB機器から正しく起動できない場合は[互換]に設定して試してください。ただし、[互換]に設定すると、Windowsの起動画面が表示されるまでの時間は、[通常]に設定したときよりも長くなります。	通常 互換
UEFI起動	「有効」に設定すると、UEFIに対応したOSを起動することができます。UEFIに対応していないOSを起動する場合は、「無効」に設定してください。 • UEFI起動の設定を出荷状態から変更すると、プリインストールされているOSが起動しなくなります。通常はUEFI起動の設定を変更しないでください。	無効 有効
CSMサポート	「有効」に設定すると、CSMを必要とする一部のOSをUEFI起動することができます。通常は「自動」に設定してください。	有効 自動

メニュー	働き	選択項目
UEFI優先度	オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。 ① [↑][↓]で[UEFI優先度]を選択し、[Enter]を押す。 • オペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定するサブメニューを表示します。 ② [↑][↓]で[先に起動させたいデバイス]を選択し、[Enter]を押す。 ＜サブメニュー内での操作方法＞ 例えば、IPv4でのLAN Bootを最優先で起動したい場合： ①「起動オプション #1」を選択し、「Enter」を押す。 ②「UEFI: IP4 Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection」を選択し、[Enter]を押す。 （通常は、Windows Boot Managerを起動オプション#1にして使用することを推奨します。 デフォルト設定をすると、起動オプション#1 に Windows Boot Managerが、#2にRecovery Partitionが設定されます）	
UEFI起動デバイス制御	どのデバイスからの起動を有効/無効にするかを設定します。例えば、「光学ドライブUEFI起動」を選択した場合、「内蔵光学ドライブからのUEFI起動を「有効」にするか「無効」にするかを設定することができます。」	サブメニュー表示

メモ

●CD/DVD ドライブから起動するときなど、一度だけ通常と異なる優先順位で起動する場合は、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んで Enter を押してください。
「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下にデバイス名を表示させるには、
① [メイン]メニューで[光学ドライブ電源]を[オン]に設定し、光学ドライブに起動メディアをセットしてからパソコンを再起動する。
② [再度セットアップユーティリティを起動し、「終了」メニューの[デバイスを指定して起動]の下に表示されているデバイスを選んで Enter を押す。

●USB ポートに接続している機器から起動するときは、次の設定になっていることを確認してください。
- 「詳細」メニューの[USB ポート]が[有効]
- 「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]

「セキュリティ」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

起動時の表示設定

メニュー	働き	選択項目
Boot Popup Menu	起動後すぐに Esc を押すと表示できる起動デバイスの選択画面を表示させない（無効）/表示させる（有効）を設定します。[有効]に設定すると、セットアップユーティリティ起動時にユーザーパスワードを入力した場合でも「起動」メニューの[デバイスを指定して起動]の項目が選べるようになります。	無効（下線） 有効
起動時のパスワード	高速スタートアップ無効時のシャットダウンまたは、Shift を押しながらシャットダウンした場合の次回起動時スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない（無効）/必要とする（有効）/[Intel(R) Anti-Theft Technology]を[アクティブ]に設定している場合のみ必要としない（自動）を設定します。	無効 有効 自動（下線）
再起動時のパスワード	Windows を再起動したときにスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要としない（無効）/[起動時のパスワード]の設定と同じ動作にする（起動時に同じ）を設定します。	無効 起動時に同じ（下線）
復帰時のパスワード	休止状態からの復帰時および Windows の高速スタートアップ時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を常に必要としない（無効）/必要とする（有効）/[Intel(R) Anti-Theft Technology]を[アクティブ]に設定している場合のみ必要としない（自動）を設定します。[起動時のパスワード]が[有効]または[自動]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効 自動（下線）

メニュー	働き	選択項目
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー表示
ハードディスク保護	ハードディスクを別のパソコンに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）/保護しない（無効）を設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）/許可しない（保護する）を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。また、セットアップユーティリティの起動時に、スーパーバイザーパスワードでなくユーザーパスワードを入力すると、一部の設定は変更できません。	サブメニュー表示

メニュー	働き	選択項目
Intel(R) Anti-Theft Technology	この項目は変更できません。 Intel(R) Anti-Theft Technology（インテル® アンチセフト･テクノロジー）はインテル®の盗難対策技術で、パソコンの盗難など万一のときにパソコンの電源を切って起動できないようにしたり、暗号化データへのアクセスに必要なキーデータを消去したりして、情報の流出を防ぐことができます。 インテル® アンチセフト・テクノロジーをお使いになる場合は、サービス事業者が提供する専用ソリューションが必要です。 使い方などについては、サービス事業者にお問い合わせください。	インアクティブ アクティブ 盗難 サスペンド
サスペンドモード遷移	Intel(R) Anti-Theft Technology（インテル®アンチセフト・テクノロジー）使用時、スリープ状態にしない（無効）/スリープ状態にする（有効）を設定します。 [Intel(R) Anti-Theft Technology]が[アクティブ]または[サスペンド]に設定されている場合のみ設定できます。	無効 有効

メニュー	働き	選択項目
内蔵セキュリティ（TPM）（内蔵セキュリティ）	内蔵セキュリティチップ（TPM）の設定に関するサブメニューを表示します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）]を表示する（保護しない）/表示しない（保護する）を設定します。工場出荷時の設定は[保護する]です。 • TPMの状態 内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。 • 待機中のTPM操作 [所有者情報の初期化]を選択すると、内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化し、内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。 • 現在のTPMの状態 現在のTPMの設定が表示されます。項目を選択したり変更したりすることはできません。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。 （フラッシュメモリードライブ搭載モデルのみ）	サブメニュー表示

セットアップユーティリティ

メニュー	働き	選択項目
AMT 設定	インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーに関するサブメニューを表示します（インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーが使用できるモデルの場合のみ表示されます）。インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーは、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトと組み合わせて使うことで、ネットワーク上のパソコンの電源がオフの状態でも、ネットワーク管理者やシステム管理者がリモートでそのパソコンの情報を統合的に管理することができる機能です。 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用するには、設定が必要です。設定の際は、ネットワーク管理者またはシステム管理者に必ず確認してください。また、別途インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー対応の市販のアプリケーションソフトも必要になります。 ネットワーク管理者およびシステム管理者がいない場合は、インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーを使用しないことをお勧めします。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[AMT 設定] を表示する（保護しない）/ 表示しない（保護する）を設定します。 工場出荷時の設定は [保護する] です。 • Intel(R) ME Setup 起動 Ctrl + P を押したときに Intel(R) Management Engine のセットアップを起動する（有効）/ 起動しない（無効）を設定します。 工場出荷時の設定は [無効] です。 • USB コンフィグ USB キー（USB メモリー）を使ったコンフィグ機能を使わない（無効）/ 使う（有効）を設定します。 工場出荷時の設定は [無効] です。 • 起動タイムアウト マネジメントサーバーへの接続を確立するときに、タイムアウトになるまでの時間を秒単位（1 ～ 254）で設定します。[Intel(R) ME Setup 起動] が [有効] の場合のみ設定できます。 • AMT 設定のリセット Intel(R) ME Setup により設定された各項目を工場出荷時の状態に戻します。 Esc を押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示
セキュアブート	Enter でセキュアブートサブメニューを表示します。	サブメニュー表示
セキュアブート制御	セキュアブートを「有効」または「無効」に設定します。 セキュアブートは、システムモードが User の場合に動作します。 • 通常はセキュアブートの設定を変更しないでください。	無効 有効

詳しい使い方

セットアップユーティリティでパスワードを設定する

セットアップユーティリティでパスワードを設定すると、セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]または[自動]※4 に設定しておくと、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。
設定する前に、必ず『操作マニュアル』「セキュリティ」の「パソコン起動時/再起動時/リジューム時のパスワードを設定する」をご覧ください。

※4 [起動時のパスワード]を[自動]に設定して、Intel(R) Anti-Theft Technologyを使用している場合はパスワードの入力は不要です。
Intel(R) Anti-Theft Technologyを使用しているかどうかは、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューの[Intel(R) Anti-Theft Technology]をご覧ください。Intel(R) Anti-Theft Technologyを使用している場合は、[アクティブ]が表示されています。

1 **51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。**

2 **[←][→]で[セキュリティ]を選ぶ。**

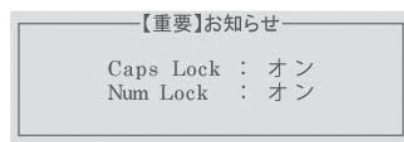
スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
[↑][↓]で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、[Enter]を押す。

ユーザーパスワードを設定する場合：
[↑][↓]で[ユーザーパスワード設定]を選び、[Enter]を押す。

●ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

3 **[新しいパスワードを入力してください]の[　　　]の中に新しいパスワードを入力し、[Enter]を押す。**

●入力したパスワードは画面には表示されません。
●キーボードがテンキーモードまたはキャップスロックになっていると、パスワードの設定時や入力時に右のような「【重要】お知らせ」画面が表示されます。

【重要】お知らせ
Caps Lock　：　オン
Num Lock　：　オン

●パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号、スペースで最大32文字です。英字の大文字と小文字は区別されます。
- 「¥」など、パスワードに使えない記号キーがあります。使えない記号キーを押してもパスワードには入力されません。
- 数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
- 「【重要】お知らせ」画面が表示され「Caps Lock：オン」と表示されていると（Caps Lockランプが点灯）、パスワードが大文字で設定されます。
  また、「Num Lock：オン」と表示されていると（NumLockランプが点灯）、キーボードの一部がテンキーになり、数字または演算記号が設定されます。
  キーボードのテンキーモードおよびキャップスロックの状態を確認してから、パスワードを入力してください。確認せずに入力すると設定したいパスワードと異なるパスワードが設定されてしまうおそれがあります。

●[Ctrl]などのキーと組み合わせて入力することはできません。

4 **[新しいパスワードを確認してください]の[　　　]の中に手順3で入力したパスワードを再度入力し、[Enter]を押す。**

5 **[F10]を押し、[はい]を選んで[Enter]を押す。**

セットアップユーティリティ

重 要

パスワードは忘れないようにしてください。

● **お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。**
パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。

● **スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合**
有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、ハードディスク保護を有効に設定している場合、修理でも無効にできませんので、パスワードは絶対に忘れないようにご注意ください。

● **ユーザーパスワードを忘れてしまった場合**
セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。

● **本機の修理を依頼される場合**
スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を無効にしておいてください。

詳しい使い方

ハードディスク保護を設定する

セットアップユーティリティのパスワードを設定しておくと、パスワードを知らない第三者がパソコンを使うことはできなくなりますが、パソコンを分解し、内蔵のハードディスクを取り外して他のパソコンに取り付けると、ハードディスク内に保存されている情報が読まれてしまうおそれがあります。
ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。

1 セットアップユーティリティを起動する。(➡51ページ手順1と2)
パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、次の手順2で設定してください。

2 ←→で[セキュリティ]を選ぶ。
スーパーバイザーパスワードを設定する場合:
① ↑↓で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
② [新しいパスワードを入力してください]の[　　　]の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。
③ [新しいパスワードを確認してください]の[　　　]の中に手順②で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。

3 ↑↓で[ハードディスク保護]を選び、Enterを押す。

4 ↑↓で[有効]を選び、Enterを押す。

5 確認の画面でEnterを押す。

6 F10を押し、[はい]を選んでEnterを押す。

起動時に「ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています」と表示された場合は、セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動します。
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存しないで再起動します。

保存オプション

メニュー	働き
設定を保存する	設定内容を保存します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。

メニュー	働き
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。

メニュー	働き
デバイスを指定して起動	OSを起動させるデバイスを指定します。次回起動時のみ選択したデバイスから起動します。 グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

メニュー	働き
診断ユーティリティ	PC-Diagnosticユーティリティを起動し、ハードウェアの診断を行います。（➡82ページ） 実行すると再起動がかかります。再起動後診断ユーティリティが起動するまで何も押さないでください。 グレー表示になって選べない場合は、F10を押してセットアップユーティリティを終了し、再度セットアップユーティリティを起動してください。

詳しい使い方

パーティションを変更する

パーティションとは

ハードディスク上に作成した領域（区画）のことです。

１つのハードディスクに複数のパーティションを作成することで、１つのハードディスクを複数のディスクのように扱うことができます。
工場出荷時、変更可能な本機のパーティションは１つです（修復用領域（リカバリー領域とシステム領域から構成されています）は変更することができません）。

1 **スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで［すべてのアプリ］をクリックし、［コンピューター］を右クリックする。**

2 **［コンピューターの管理］をクリックする。**

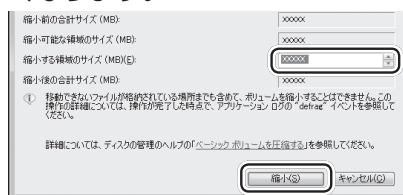
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。
標準ユーザーでサインインしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して［はい］をクリックします。

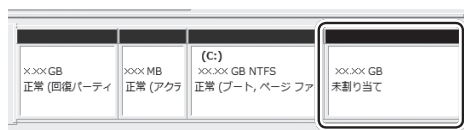
3 **［ディスクの管理］をクリックする。**

4 **Windowsが使用しているパーティション（工場出荷時はCドライブ）を右クリックし、［ボリュームの縮小］をクリックする。**

下記は表示例です。パーティションのサイズなどはモデルによって異なります。

5 **［縮小する領域のサイズ］を入力し、［縮小］をクリックする。**

ハードディスクの一部の領域を縮小することで、その中に複数のパーティションを作成することができます。
画面に表示されているサイズよりも大きなサイズには指定できません。また、40GB以下に縮小すると、そのドライブにOSを再インストールすることができなくなります。

6 **［未割り当て］領域を右クリックし、［新しいシンプルボリューム］をクリックする。**

［未割り当て］領域は手順５で縮小した領域です。入力した数値より、少なくなります。

7 **「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」画面が表示されたら［次へ］をクリックする。**

次の設定を行ってください。
②と③の設定を表示以外に変更する場合は専門的な知識が必要です。通常は表示されたままで［次へ］をクリックしてください。

① シンプルボリュームサイズの指定
作成するパーティションのサイズを指定します。［未割り当て］領域をすべて使用する場合は、表示されたサイズのまま［次へ］をクリックしてください。
表示されたサイズより少ない数値を入力した場合、残りのサイズは［未割り当て］領域として残ります。

② ドライブ文字またはパスの割り当て

③ パーティションのフォーマット

8 [完了]をクリックする。

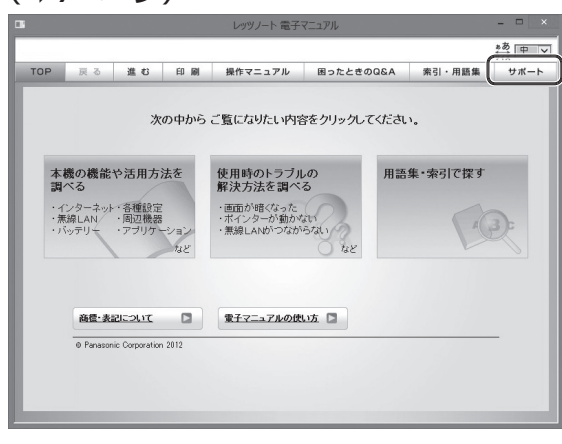
新しいパーティションのフォーマットが開始します。（手順7の③で「このボリュームを次の設定でフォーマットする」を選択した場合）
画面にフォーマットの進行が表示されますので、終了するまでお待ちください。

●パーティションを追加するには
[未割り当て]領域が残っている場合は手順6から、Windowsの領域にまだ余裕がある場合は手順4からの操作を行うことで、新しいパーティションを追加できます。

●パーティションを削除するには
手順4の画面で削除するパーティションを右クリックし、[ボリュームの削除]をクリックしてください。

このパソコンにトラブルがあったときは

問題の解決方法

こんなとき	確認する／ここで調べる
画面に黒い点や、色の付いている点がある	故障ではありません（➡78ページ）
画面が暗い	Fn ＋ F2 を押す（➡21ページ）
仕様がわからない ・使えるRAMモジュールは？ ・付属のアプリケーションは？	『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」
駆動時間が短い	使用環境によって異なります（➡33ページ）
電源が入らない／電源は入るがWindows画面が出ない	本書の「困ったとき」（➡68～69ページ）
Windowsの操作がわからない	『Windows® 8入門ガイド』 付属していない場合があります。
Windows画面は出ているが、操作できない ・キーボード ・ホイールパッド ・インターネット ・無線 LAN　など	画面で見る『困ったときのQ&A』（➡7ページ）
周辺機器が動かない	画面で見る『困ったときのQ&A』（➡7ページ）
アプリケーションソフトが動かない／おかしい	ご購入時に導入済みのアプリケーションソフトの場合：画面で見る『困ったときのQ&A』（➡7ページ） その他のソフトの場合

さらに調べるとき/修復するとき

解決しないとき

修理に関するお問い合わせ

1. 付属の『修理依頼書』に記入する。
2. 付属の『取扱説明書 基本ガイド』で修理に関する詳しい情報を確認し、修理窓口へ連絡する。

「ハードウェアを診断する」(➡82ページ)

「再インストールする」(➡88ページ)

パナソニックパソコンお客様ご相談センター 365日 受付9時~20時

電　話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-873029(パナソニック)

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください(はじめに「186」をダイヤル)。

・上記電話番号がご利用いただけない場合(発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む)は
(06)6905-5067

ＦＡＸ (06)6905-5079

(パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

(2012年8月現在)

弊社のWebページの「よくある質問(FAQ)」
http://askpc.panasonic.co.jp

周辺機器のWebページや説明書

周辺機器の相談センターへ

アプリケーションソフトのWebページや説明書

「アプリケーションソフトの問い合わせ先」(➡96ページ)

アプリケーションソフトの相談センターへ

困ったとき

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態のQ&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、68 ～ 97ページで解決方法を確認してください。
解決方法が見当たらない場合は、スタート画面右下の をクリックし、[操作マニュアル]-[開く]-[本機の機能や活用方法を調べる]をクリックし、[困ったときのQ&A]も確認してください。

① 困ったときのQ&A をクリック
②カテゴリーをクリック
③ Q&Aのタイトルをクリック

質　問	対　策
本機が起動しない/バッテリー状態表示ランプ▯が点灯しない	**ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。** ➡『取扱説明書 基本ガイド』
	バッテリーパックがしっかりと固定されていることを確認してください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。 RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。 ●パソコンの電源を切り、推奨のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。 RAMモジュールについては、「メモリー容量を増やす」(➡48ページ)または『取扱説明書 基本ガイド』「仕様」をご覧ください。
	しばらくしてから再度電源を入れてください。 CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	電源コードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。 ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。電源コードを接続し直してもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	ミニACアダプターを使用する場合は、バッテリーパックを装着してください。
SD/SDHC/SDXCメモリーカードをセットしたままWindowsを起動すると、チェックディスク(CHKDSK)が始まる	**チェックディスクが終了するまでそのままお待ちください。** SD/SDHC/SDXCメモリーカードへの書き込み中に、カードを取り出した可能性があります。 ➡『操作マニュアル』「周辺機器」の「SD/SDHC/SDXCメモリーカードを使う」

質　問	対　策
電源は入るがWindowsが正常に起動しない	**電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合** アクセスランプ が点灯していないなど、ハードディスクにアクセスしていないことをご確認のうえ、電源スイッチを４秒以上スライドして電源を切ってください。その後、再度電源を入れてください。
	お買い上げ後初めて電源を入れた場合 Windowsのセットアップ画面が表示されず、「コンピューターが予期せず再起動されたか、予期しないエラーが発生しました」というようなメッセージが表示される場合があります。これは、Windowsのセットアップが始まるまでにパソコンの電源が強制的に切れた場合（ACアダプターを抜いたり、ACアダプターを接続せずにセットアップしてバッテリー残量がなくなったりした場合）に表示されるメッセージで、再インストールを行うまでWindowsが使えなくなります。この場合は、再インストールをしてください。
	Windowsが起動しなくなった場合 リカバリーディスクを使って再インストールしてください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。 （➡53ページ）
	USBメモリーなど、周辺機器を取り外してください。 周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
Windows起動時に音が途切れる	**Windowsの処理状況によっては、Windows起動時に音が途切れる場合があります。** 次の手順で起動時の音が鳴らないように設定することができます。 ① デスクトップで右クリックし、[個人設定]をクリックする。 ② [サウンド]をクリックし、[Windows スタートアップのサウンドを再生する]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された	**システムを起動できないフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。** セットされている場合は、取り出してから何かキーを押してください。
	USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシーUSB]を[無効]に設定してください。 セットアップユーティリティの起動方法：➡51ページ
	設定しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。 ●再インストールを行い、ハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻してください。（➡88ページ）

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態のQ&A

質　問	対　策
Windows 8以外のOSをフロッピーディスクから起動できない	**ご使用のフロッピーディスクドライブ（FDD）によっては、正常に起動しない場合があります。**
	パソコンの電源を切り、外部FDDを接続し直してください。
	起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。
	セットアップユーティリティを起動し、次の設定になっていることを確認してください。 •「詳細」メニューの[USBポート]が[有効] •「詳細」メニューの[レガシーUSB]が[有効] •「起動」メニューの[Boot Mode]が[通常] • 起動オプション優先度（UEFI起動[無効]時のみ表示）で[起動オプション#1]が[USBフロッピー] 次回起動時のみ、フロッピーディスクから起動する場合は、「終了」メニューで[デバイスを指定して起動]の下に表示されているフロッピーディスクドライブのデバイス名（例：[MATSHITAFDD XXXXX]）を選び、Enterを押してください。 ●UEFI起動の設定を出荷状態から変更すると、プリインストールされているOSが起動しなくなります。通常はUEFI起動の設定を変更しないでください。
ユーザー名を変更したらサインインできなくなった	変更前のユーザー名でサインインしてみてください。 ユーザー名は「名前」と「フルネーム」という2種類の名前で管理されています。
Windowsの起動や動作が遅い	**メモリー容量を増やしてください。**
	お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。
	ハードディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、ディスクデフラグツールを実行してください。
	なお、Windowsの動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。
スリープ状態/休止状態からリジューム（復帰）しない	**次のような場合は、電源スイッチをスライドして電源を入れてください。なお、保存していないデータは失われます。** • スリープ状態のとき、ACアダプターおよびバッテリーパックを取り外した。 • 周辺機器の取り付け/取り外しを行った。 • 電源スイッチを4秒以上スライドして強制終了した。
	ACアダプターを接続し、リジュームしてください。 バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。
再起動すると、内蔵CD/DVDドライブの電源がオフになる	**[光学ドライブ電源]を[オン]に変更してください。** CF-SX2シリーズをお使いの場合、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]が[オフ]に設定されています。ドライブの電源を常にオンの状態で起動したい場合は、[光学ドライブ電源]を[オン]に変更してください。 ただし、[オン]に設定すると、パソコンの電源を入れた直後にドライブの作動音が鳴ります。

質　問	対　策
電源が切れない（Windowsが終了しない）	**周辺機器を取り外してからWindowsを終了してください。** 周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、（スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。 削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトの問題が考えられます。ソフトのメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。 ① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ② スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック-[コンピューター]をクリックし、[ローカルディスク（C:）]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ③ [ツール]をクリックして、[チェック]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。標準ユーザーでサインインしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[はい]をクリックします。 ④ [チェックディスクのオプション]で[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクターをスキャンし、回復する]にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。 ⑤「次回コンピューター起動時にハードディスクのエラーを検査しますか？」というメッセージが表示された場合は、[ディスク検査のスケジュール]をクリックする。 ⑥ Windowsを再起動する。 チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容、[チェックディスクのオプション]の設定により異なります。 チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。 （➡88ページ）

パスワード/メッセージのQ&A

質　問	対　策
パスワードを入力しても再度入力を求められる	**[1]ランプが点灯している場合は、NumLkを押してテンキーモードを解除してから入力してください。** セットアップユーティリティのパスワードを入力する場合、テンキーモードになっていると、その状態をお知らせする「【重要】お知らせ」画面が表示されます。
	[A]ランプが点灯している場合は、Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックを解除してから入力してください。 セットアップユーティリティのパスワードを入力する場合、キャップスロックになっていると、その状態をお知らせする「【重要】お知らせ」画面が表示されます。
キーを押しても文字が入力されない	**Fnキーがロックされている場合があります。Fnを1回押してロックを解除してから入力してください。**
「パスワードを入力してください」が 表示された パスワードを入力してください	**スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。** スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。 ユーザーパスワードを忘れてしまった場合は、セットアップユーティリティを起動して、パスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力してください。 ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
パスワードの入力画面が表示されない	**休止状態からリジュームしたときにパスワードの入力画面を表示させるには、次の設定を行ってください。** ●セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、[復帰時のパスワード]を[有効]または[自動]に設定します。 ●Windowsパスワードの入力画面を表示するには （工場出荷時は、Windows パスワードが設定されていれば表示される設定になっています）。 ①（スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]をクリックする。 すでにWindowsパスワードが作成されている場合は、手順⑧に進んでください。 ②[ファミリーセーフティの設定]をクリックする。 ③[これらのアカウントにパスワードを追加してください]をクリックする。 ④パスワードを設定したいユーザーアカウントを選んでクリックする。 ⑤[パスワードの作成]をクリックする。 ⑥パスワードを設定し、[パスワードの作成]をクリックする。 ⑦（スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]をクリックする。 ⑧[システムとセキュリティ]をクリックする。 ⑨[スリープ解除時のパスワード要求]をクリックする。 ⑩[現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。標準ユーザーでサインインしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[はい]をクリックします。 ⑪[パスワードを必要とする]をクリックし、[変更の保存]をクリックする。

質　問	対　策
ACアダプターを接続している場合でも「ACアダプターを接続してください」などのメッセージが表示される	**ピークシフト制御が有効に設定されているため、バッテリー駆動に切り替わっている可能性があります。メッセージを表示しないようにするには、次の操作でピークシフト制御を無効に設定してください。** • Windowsが起動する場合： 「ピークシフト制御ユーティリティ」画面で[ピークシフト制御を有効にする]をクリックしてチェックマークを外してください。 • Windowsが起動できない場合やすでにピークシフト制御が無効に設定されている場合： パソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外し、取り付け直してください。
	ミニACアダプターを接続している場合は、ACアダプターを接続してください。
「'MATSHITA DVDXXXXXXXXXX' はコンピューターから安全に取り外すことができます」などのメッセージが表示された※1	**CF-SX2シリーズをお使いの場合に表示されるメッセージで、内蔵CD/DVDドライブの電源がオフになったことをお知らせするメッセージです。** CD/DVDドライブの電源をオフにしたときなどに表示される場合がありますが、CD/DVDドライブは内蔵のため取り外すことはできません。
管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを忘れた	**他の管理者のユーザーアカウントでサインインし、忘れてしまったパスワードを削除してください。** ① （スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック）-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウントの追加または削除]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。 ② パスワードを忘れてしまった管理者のユーザーアカウントをクリックし、[パスワードの削除]をクリックして[パスワードの削除]をクリックする。 他に管理者のユーザーアカウントを作成していない場合は、再インストールして、ハードディスクを工場出荷時の状態に戻す必要があります。ただし、再インストールをすると、作成したデータやインストールしたアプリケーションソフト、メールの履歴などはすべて消去されます。
	パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示される[パスワードのリセット]をクリックし、表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定することができます。 パスワードリセットディスクで解除できるのは、各ユーザーアカウントのWindows パスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。セットアップユーティリティのパスワードは忘れないように注意してください。 パスワードリセットディスクを作成するには、次の手順をご覧ください。 ① （スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ] をクリック）-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]をクリックし、[ユーザーアカウント]をクリックする。 ② [パスワードリセットディスクの作成]をクリックする。 以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。

パスワード/メッセージのQ&A

質　問	対　策
Windowsが起動せず、数字またはメッセージが表示された	システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」(➡95ページ)の内容に従って操作してください。
	「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、69ページをご覧ください。

※1 モデルによっては、「‘SlimtypeDVDXXXXXXXXX’ はコンピューターから安全に取り外すことができます」と表示される場合があります。

バッテリーのQ&A

質　問	対　策
カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短い	**バッテリーの駆動時間は、バッテリーのエコノミーモード（ECO）の有効/無効や、使用環境、設定されている電源プランによって異なります（➡33ページ）。**
バッテリーパックの交換時期（寿命）を知りたい	**バッテリーパックを正しく充電してもバッテリーの駆動時間が著しく短い場合は、バッテリーパックの寿命と考えられます。新しいバッテリーパックと交換することをお勧めします。** PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、バッテリーパックの状態が定期的に確認され、お知らせする情報がある場合は画面右下に[バッテリーに関するお知らせがX件あります]という小ポップアップ画面が表示されます。 小ポップアップ画面をクリックしてバッテリーに関する情報（バッテリー残量表示補正およびバッテリーの消耗/交換時期）を確認することができます（➡『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「パナソニックからの必要な情報を確認する」）。
バッテリーが充電されない	**ピークシフト制御が有効に設定されているため、バッテリー駆動に切り替わっている可能性があります。充電するには、次の操作でピークシフト制御を無効に設定してください。** • Windowsが起動する場合： 「ピークシフト制御ユーティリティ」画面で[ピークシフト制御を有効にする]をクリックしてチェックマークを外してください。 • Windowsが起動できない場合やすでにピークシフト制御が無効に設定されている場合： パソコンの電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取り外し、取り付け直してください。
	ミニACアダプターを使用している場合、本体が電源オン時は充電しません。充電する場合は、ACアダプターを接続してください。
バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯している	**バッテリーの残量が少なくなっています（残量約9%以下）。** ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windowsを終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
バッテリー状態表示ランプが点滅している	**赤色に点滅している場合** すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
	オレンジ色に点滅している場合 次のどちらかの状態が考えられます。 ●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。 ●アプリケーションソフトや周辺機器（USB機器など）が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトを終了し、周辺機器を取り外します。電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。

バッテリーのQ&A

バッテリー状態表示ランプ▯が緑色に点灯後すぐに消える	**バッテリーが満充電の場合、本機が動作していないとき（電源オフ、スリープ、休止のとき）はACアダプターからの電力供給を停止して消費電力を抑制します。** このような状態でACアダプターを接続すると、ランプは緑色に点灯しますがしばらくすると消灯します。
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示された	**バッテリー残量表示補正を実行した後、「Windowsを終了します」という画面で[いいえ]をクリックした可能性があります。[いいえ]をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。** ●Windowsを起動するには、電源スイッチをスライドして電源を切り、もう一度電源を入れてください。

ポインターと画面表示のQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ホイールパッド使用時ポインターが動かない</td><td>セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]が[有効]に設定されているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>キーボードを操作し、外部マウスのドライバーを削除してください。
① 管理者のユーザーアカウントでサインインし、⊞を押しながらRを押す。
②「devmgmt.msc」と入力してEnterを押す。
③ Tabを押し、↓を数回押して[マウスとそのほかのポインティングデバイス]を選び、→を押す。
④ [Synaptics PS/2...]以外の名前が表示されている場合、↓で外部マウスのドライバーを選び、Del、Enterの順に押し削除する。
⑤ 再起動確認の画面で[はい]を選び、Enterを押す。
再起動確認の画面が表示されない場合は、⊞を押し、→を２回押した後、↑で[再起動]を選んでEnterを押してください。
キーボードで操作できない場合は、電源スイッチを４秒以上スライドして電源を切った後、電源を入れてください。
⑥ ⊞を押しながらRを押す。
⑦「c:¥util¥drivers¥mouse¥setup.exe」と入力してEnterを押す。
⑧ 画面の指示に従ってSynapticsのドライバーをインストールする。</td></tr>
<tr><td>スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]-[デバイス設定]をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]にチェックマークを付けている場合、USBマウスを接続するとホイールパッドが無効になります。
• ホイールパッドをお使いになる場合は、USBマウスを取り外してください。
• USBマウスを接続してもホイールパッドが無効にならないように設定する場合は、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする]をクリックしてチェックマークを外して[OK]をクリックしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ポインターが勝手に動く</td><td>外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください。
上記「ホイールパッド使用時ポインターが動かない」の２つ目の項目の手順①～⑤をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。
「ホイールパッドを使う」をご覧ください。➡24ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">マウス接続時ポインターが動かない</td><td>マウスが正しく接続されているか確認してください。</td></tr>
<tr><td>接続したマウスのドライバーをインストールしてください。
外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。
詳しくは、📖『操作マニュアル』「周辺機器」の「外部マウスを使う」をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[フラットパッド]を[無効]に設定してください。</td></tr>
<tr><td>お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。
不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。</td></tr>
</table>

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
残像が表示される	**別の画面を表示してください。** 同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。
マウス接続時ホイールパッドを無効にする	**スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで [すべてのアプリ] をクリック-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[マウス]-[デバイス設定] をクリックすると表示される画面で、[USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする] をクリックしてチェックマークを付けて [OK] をクリックしてください。（➡25ページ）**
明るさが変わった（暗くなった/明るくなった）	**Fnキーを使うことで、明るさを変更できます。** Fn＋F1：画面が暗くなります。 Fn＋F2：画面が明るくなります。 ➡21ページ
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されない/画面の色や明るさにむらが見える	**これらは故障ではありません。** • 本機に搭載のカラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤、青、緑色）するものがあります。（有効画素：99.998 %以上、画素欠けなど：0.002 %以下） • 液晶ディスプレイの構造上の特性により、見る角度によって色や明るさにむらが見える場合があります。また、画面の色合いは製品によって異なる場合があります。
画面が乱れる	**本機を再起動してください。** 解像度/色数を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。
	内部LCDのリフレッシュレートが40ヘルツになっている可能性があります。次の方法でリフレッシュレートを変更してください。 ① デスクトップの何もないところを右クリックし、[グラフィック プロパティ]をクリックする。 アプリケーションモードを選ぶ画面が表示された場合は、モードをクリックして[OK]をクリックしてください。 詳細な設定を行わない場合は、[基本モード]を選んでください。 ② [マルチディスプレイ]をクリックし、[動作モード]で[クローンディスプレイ]をクリックする。 [クローンディスプレイ]が表示されていない場合は、外部ディスプレイを接続してください。 ③ [一般設定]をクリックする。 ④ [ディスプレイ]を[内蔵ディスプレイ]に設定し、[リフレッシュレート]が[40Hz]になっている場合は、[60Hz]に変更し、[OK]をクリックする。 ⑤ 確認の画面で[OK]をクリックする。

質　問	対　策
文字がにじんだりぼやけたりする	**画面の解像度をLCDのドット数よりも小さくすると、LCDのドット数に合うように画面が引き伸ばされて表示されます。このため、文字がにじんだようになりますが、故障ではありません。** **文字をにじませず、大きく表示させたいときは、解像度を変更せず、次の方法をお試しください。** • デスクトップのDashboard for Panasonic PCをダブルクリックする。Systemページの[テキストサイズ（DPI）]の[設定を変更する]をクリックする。[小-100%]以外をクリックして[適用]をクリックする。 [今すぐサインアウト]または[後でサインアウト]を選択してください。本設定を有効にするには、いったんサインアウトした後に再度サインインする必要があります。 • Internet Explorer、WordやExcelなどのアプリケーションソフトのフォントサイズを拡大表示する場合：各アプリケーションソフトの表示拡大機能を使う。
一瞬真っ黒になる	**サインインやサインアウト、ユーザーの簡易切り替えを使用したとき、画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。**
	ユーザーアカウント制御を設定している場合、シールドが表示されている操作を行うと「ユーザーアカウント制御」画面が表示され、この画面以外の部分が暗くなります。 管理者のユーザーアカウントでサインインしている場合は、[はい]をクリックしてください。 標準ユーザーでサインインしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力し、[はい]をクリックしてください。
	電源プラン拡張ユーティリティの[画面の省電力機能]を有効に設定しているときに、次のような操作や設定を行うと画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。 • Fn＋F1/Fn＋F2で画面の明るさを調整する。 • ACアダプターを抜き挿しする。 • ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効にし、[電源プランと連動する]にチェックマークを付ける。 動画再生ソフトやグラフィックのベンチマークソフトなどをお使いで、エラー画面が表示されたりソフトが正しく動作しなくなったりした場合は、電源プラン拡張ユーティリティの[画面の省電力機能]を無効に設定したり、ピークシフト制御ユーティリティで[電源プランと連動する]のチェックマークを外したりしてください。 ➡ 『操作マニュアル』「レッツノート活用」の「利用シーンに合った電源設定をする（電源プランの設定）」

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
何も表示されない	**電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。** Ctrl や Shift など動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、 （スペースキー）、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わないでください。 ディスプレイの電源が切れないようにするには、「スリープ状態 / 休止状態に移行するまでの時間を変更 / 無効にする」（➡38ページ）をご覧になり、[ディスプレイの電源を切る] を [なし] に設定してください。
	画面の表示モードが内部 LCD以外に設定されている可能性があります。 Fn ＋ F3 または ⊞ ＋ P を押して表示モードを切り替えてください。 Fn ＋ F3 または ⊞ ＋ P を続けて押す場合は、画面の表示モードが完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。 Fn ＋ F2 を押して画面を明るくしてください。（➡21ページ）
	電源状態表示ランプ⏻が点滅または消灯している場合は、スリープ状態または休止状態になっています。 電源スイッチをスライドしてください。
	RAMモジュールを増設または交換した場合は、RAMモジュールが正しく取り付けられていません。 電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認し、正しく取り付け直してください。それでも画面に何も表示されない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

リカバリーディスク（リカバリー DVD）のQ&A

質　問	対　策
リカバリーディスクまたはリカバリー DVD が付属していない	**リカバリー DVD は付属していません。** リカバリーディスク作成ユーティリティを使って、リカバリーディスクを作成してください。 （➡『取扱説明書 基本ガイド』「リカバリーディスクを作成する」）
リカバリーディスクの作成方法がわからない	**付属の『取扱説明書 基本ガイド』「リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。**

ハードウェアを診断する

本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。
ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」(➡『取扱説明書 基本ガイド』)をご覧ください。

PC-Diagnosticユーティリティで診断するハードウェア

診断するハードウェア	PC-Diagnosticユーティリティの表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxxx MB
ハードディスク	HDD xxx GB
内蔵CD/DVDドライブ (CF-SX2シリーズのみ)	DVD-ROM
ビデオコントローラー	Video
サウンド	Sound
LAN	LAN
WiMAX搭載モデルの場合： 無線LAN/WiMAX WiMAXを搭載していないモデルの場合： 無線LAN	Wireless LAN
USB3.0ポート	USB
Bluetooth (Bluetooth搭載モデルのみ)	Bluetooth
内部キーボード	Keyboard
ホイールパッド	Touch Pad

●Video診断中に画面が乱れたり、Sound診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。Sound診断中は、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを装着しないでください。(Windowsでミュートに設定している場合、音は鳴りません。)
●ソフトウェアは診断できません。

操作のしかた

ホイールパッドで操作することをお勧めします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内部キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内部キーボードの操作
アイコンを選ぶ	ポインターをアイコンの上に合わせる	[　　　　]（スペースキー）を押してから[→][←][↑][↓]を押す（画面右上の[close]は選べません。）
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする（右クリックは使えません。）	アイコン上で[　　　　]（スペースキー）を押す
PC-Diagnosticユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の[close]をクリックする	[Ctrl]＋[Alt]＋[Del]を押す

ホイールパッドが正しく動作しない場合は、[Ctrl]＋[Alt]＋[Del]を押してパソコンを再起動するか、電源スイッチをスライドして電源を切った後に、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。

診断する

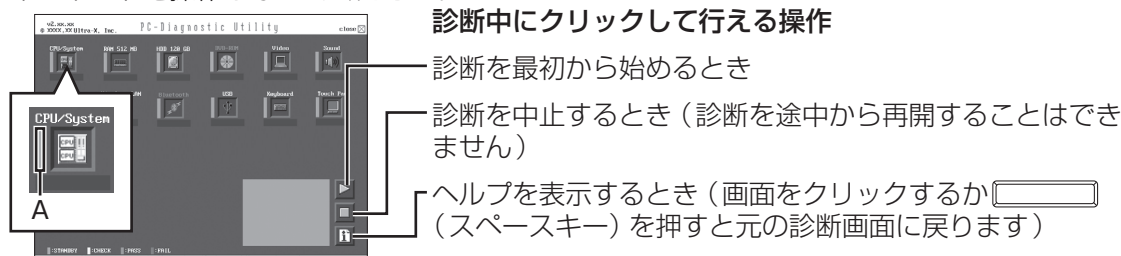
セットアップユーティリティを工場出荷時の状態にして実行します。セットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になります。

1. **周辺機器を取り外す。**
2. **ACアダプターを接続する。**
   診断中は、ACアダプターの抜き挿しや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。
3. **51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。**
4. **[F9]を押す。**
   確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、[Enter]を押してください。
5. **CF-SX2シリーズをお使いの場合は、次の操作を行う。**
   [←]と[→]を使って「メイン」メニューに移動して[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。
   CF-NX2シリーズをお使いの場合は、手順6に進む。
6. **[F10]を押す。**
   確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、[Enter]を押してください。
7. **パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に[F2]または[Del]を押してセットアップユーティリティを起動する。**
8. **[←]と[→]を使って「終了」メニューに移動する。**

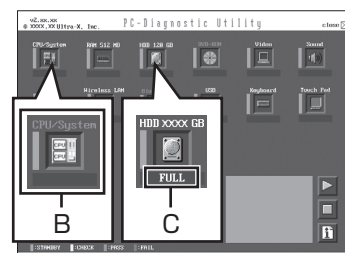
9 ⇧と⇩を使って[診断ユーティリティ]を選びEnterを押す。

自動的に再起動してPanasonic画面を表示後、PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。（画面は英語です。）
アイコンの左側（A）に青色と黄色が交互に表示され始めるまでは、ホイールパッドおよび内部キーボードを操作しないでください。

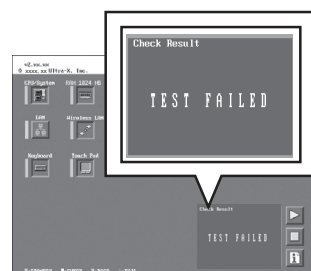
診断中にクリックして行える操作

- 診断を最初から始めるとき
- 診断を中止するとき（診断を途中から再開することはできません）
- ヘルプを表示するとき（画面をクリックするか［スペースキー］（スペースキー）を押すと元の診断画面に戻ります）

- ハードウェアのアイコンの左側（A）の表示色で診断状況が確認できます。
  - 水色：診断していない状態
  - 青色と黄色が交互に表示：診断中。診断内容によって表示の間隔は異なります。
    RAM診断中は、表示が長時間止まることがありますが、そのままお待ちください。
  - 緑色：正常と診断
  - 赤色：異常と診断
- 気温が高い場所でお使いの場合、表示される診断時間よりも長くかかる場合があります。

メモ

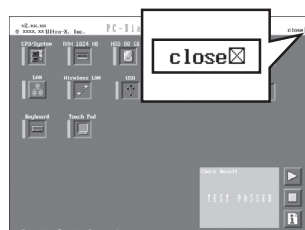
- 次の手順で、特定のハードウェアのみを診断することができます。
  ① ■をクリックして診断を中止する。
  ② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示（B）にする。
  ハードディスク、キーボード、ホイールパッドの場合は、クリックすると拡張診断（アイコンの下（C）に「FULL」と表示）になり、再度クリックするとグレー表示になります。
  ③ ▶をクリックして診断を始める。

- 拡張診断ができるハードウェアは、ハードディスク、キーボード、ホイールパッドです。通常のご使用時は、キーボードとホイールパッドの拡張診断を行う必要はありません（これらの拡張診断は、ご相談窓口にお問い合わせいただいたときに診断を行っていただく場合があります）。ハードディスクの拡張診断は、標準診断に比べて詳しい診断を行うため、診断時間が長くなります。

10 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

赤色になり「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。
緑色になり「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。
それでも正しく動作しない場合は、再インストールしてください。（➡88ページ）

RAMモジュールを増設した状態でメモリー診断をして「Check Result TEST FAILED」が表示された場合：
増設されたRAMモジュールを取り外して診断を行ってください。それでも「Check Result TEST FAILED」が表示された場合、内蔵のRAMモジュールが故障していると考えられます。

11 診断が終了したら、画面右上の [close] をクリックするか、Ctrl + Alt + Del を押してパソコンを再起動する。

重 要

CF-SX2シリーズをお使いの場合、セットアップユーティリティの「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]が[オン]に設定されています。[オン]に設定されていると、パソコンの起動直後にドライブから振動や作動音がします。パソコン起動時に作動音を鳴らさないようにするには、[光学ドライブ電源]を[オフ]に設定してください。

アイコンがグレー表示になり診断できない場合

次のような原因が考えられます。対策に記載されている操作を行ってください。操作を行ってもグレー表示になる場合は、ご相談窓口にご相談ください。

原因	対策（次の操作を行った後、再度診断してください）
セットアップユーティリティで対象のデバイスが無効に設定されている	セットアップユーティリティを起動し、対象のデバイスを[有効]に設定してください。
CF-SX2シリーズでDVD-ROMがグレー表示の場合： セットアップユーティリティの「詳細」メニューの[光学ドライブ電源]が[オフ]に設定されている	セットアップユーティリティを起動し、[光学ドライブ電源]を[オン]に設定してください。
USBがグレー表示の場合： USBポートが無効に設定されている	セットアップユーティリティを起動し、「詳細」メニューで[USBポート]を[有効]に設定してください。

PCをリフレッシュする

本機の動作が不安定になった場合は、Windowsをリフレッシュすることをお勧めします。写真、音楽、ビデオなどの個人的なファイルには影響はありませんが、この設定により、パソコンの設定は初期状態に戻ります。

リフレッシュする

1 （チャーム）-[設定]-[PC設定の変更]-[全般]-「PCをリフレッシュする」の[開始する]をクリックする。

2 「PCのリフレッシュ」画面の内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

3 「PCをリフレッシュする準備ができました」画面になったら[リフレッシュ]をクリックする。

- 数分間後パソコンが再起動し、リフレッシュが完了します。

メモ

- ●個人用ファイルとパーソナル設定は変わりません。
- ●PCの設定は初期状態に戻ります。
- ●Windowsストアからインストールしたアプリは残ります。
- ●ディスクまたはWebサイトからインストールしたアプリは削除されます。
- ●削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。

ハードディスクを復元する

Windows 8に搭載されている「高度な回復ツール」を使うことで、ハードディスク全体をバックアップおよび復元することができます。

ハードディスクをバックアップする

「高度な回復ツール」を使うと、別の記憶メディア（外付けハードディスクなど）に、ハードディスク全体のバックアップを取ることができます。
ハードディスク全体をバックアップするには、次の手順を行ってください。

① スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]をクリックする。
② [ファイル履歴]をクリックする。
③ [回復]をクリックする。
④ [回復ドライブの作成]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。
⑤「回復パーティションをPCから回復ドライブにコピーします。」にチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。
以降は画面の指示に従ってください。

ハードディスクを復元する

バックアップしたシステムを復元するには、「高度な回復ツール」の「システムの復元を開く」を使います。
「システムの復元を開く」を起動するには、次の手順を行ってください。

① スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]をクリック-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]をクリックする。
② [ファイル履歴]をクリックする。
③ [回復]をクリックする。
④ [システムの復元を開く]をクリックする。
⑤ [次へ]をクリックする。
以降は画面の指示に従ってください。

再インストールする

再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。Windows 8（64ビット）をインストールすることができます。
ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。また、お買い上げ後にお客さまがインストールされたアプリケーションソフトや各種設定（インターネットの設定など）も削除されます。
Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合は、再インストールが必要です。

● **パーティションを複数作成している場合**
Windows用とデータ用にパーティションを分けている場合は、データ用のパーティションをそのままにしてWindowsだけを再インストールすることができます。

重 要

ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。
本機のハードディスクには、再インストールに必要なリカバリーデータが保存された修復用領域があります。修復用領域はリカバリー領域とシステム領域で構成されています。

● リカバリーデータを他のメディアにバックアップすることはできません。また、外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。
万一、修復用領域が壊れたり、ハードディスクからの再インストールができなくなった場合は、リカバリーディスクを使用してください。（➡91ページ）

● ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

再インストールの流れ

必要なデータのバックアップを取る
▼
ネットワークの設定、ユーザー名やパスワードをメモしておく。
▼
セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。
▼
再インストールする（約15分）。（フラッシュメモリードライブ搭載モデルの場合は約7分／リカバリーディスク使用時は約40分）
▼
Windows のセットアップを行う。
▼
セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。
▼
インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。
▼
内蔵セキュリティチップ（TPM）をクリアする（内蔵セキュリティチップ（TPM）搭載モデルのみ）。

再インストールの前に

周辺機器およびSDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
特に、USBフロッピーディスクドライブ、USB接続のメモリーや外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。CF-NX2シリーズで、リカバリーディスクを使って再インストールする場合は、外付けのDVDドライブは接続しておいてください。

重 要

● **CF-SX2シリーズをお使いの場合、再インストールしても、DVD-Videoのリージョンコードを設定できる回数は、工場出荷時の状態に戻りません。**

再インストールする

重 要

再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。
Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 **作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや外付けハードディスクなどにバックアップを取る。**

再インストールすると、インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、削除されます。

- データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作 / 誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

2 **ネットワークの設定をメモしておく。**

再インストールすると現在の設定は消去されます。

3 **ユーザー名やパスワードをメモしておく。**

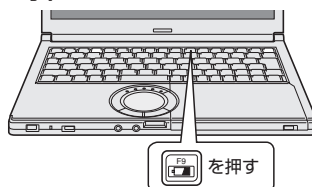
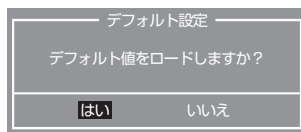
再インストールするとユーザーアカウントが削除され、Windowsパスワードも削除されます。

4 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを接続する。**

重 要

ミニACアダプターを付属しているモデルのみ
ミニACアダプターでは再インストールできませんので、ACアダプターを使用してください。

5 **51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。**

6 **F9 を押す。**

7 **次の画面で [はい] を選び、Enter を押す。**

8 **F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、Enter を押す。**

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

9 **51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。**

10 **← と → を使って「終了」メニューに移動する。**

11 **↑ と ↓ を使って [Recovery Partition] を選び、Enter を押す。**

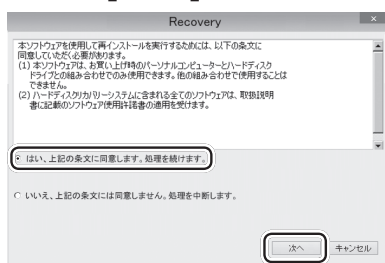
12 **[次へ] をクリックする。**

[中止する] をクリックすると、操作を中止できます。

困ったとき

再インストールする

13 [はい]をクリックする。

14 [はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

15 [次へ]をクリックする。

16 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

17 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

パソコンが再起動し、自動的にWindowsのセットアップが起動します。

18 Windowsのセットアップを行う。

（➡『取扱説明書 基本ガイド』）

19 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

20 インターネットに接続できる場合は、（チャーム）-[設定]-[PC設定の変更]-[Windows Update]をクリックし、[更新プログラムを今すぐチェックする]をクリックする。

21 TPMをクリアする。

① スタート画面の何もないところで右クリックし、画面下に表示されるタスクバーで[すべてのアプリ]-[ファイル名を指定して実行]-をクリックする。※1
② [名前]欄に「tpm.msc」と入力して[OK]をクリックする。
③ 「コンピューターのトラステッド プラットフォーム モジュール(TPM)の管理」画面が表示されるので、右の「操作」の下の「TPMをクリア」をクリックする。
④ 「TPMセキュリティハードウェアをクリアします」の画面で、画面の指示に従い[再起動]をクリックする。
⑤ 再起動後、「TPMを次の状態に変更する要求がありました・・・」が表示されたら、F12を押す。
⑥ デスクトップ画面に移動し、「TPMの準備ができました」が表示されているのを確認し、「閉じる」をクリックする。

※1 同じことは、⊞+Rを押すことで実現可能です。

リカバリーディスクを使う

次の場合は、リカバリーディスクを使って再インストールしてください。

- 管理者アカウントのパスワードがわからなくなった場合。
- 「再インストールする」（➡88ページ）の操作が最後まで実行できない場合（修復用領域が破損している可能性があります）。

重 要

- **再インストールすると、リカバリーディスクを再度作成できるようになります。**
  リカバリーディスクを複数回作成し、作成したリカバリーディスクを使って再インストールするときは、1枚目と同じときに作成した2枚目（モデルによっては2枚目および3枚目）を使用してください。
  再インストール前に作成した1枚目と再インストール後に作成した2枚目を使用するなど、異なる時期に作成したリカバリーディスクを混在して使用すると、正しく再インストールできない場合があります。

1 **「再インストールする」（➡89ページ）の手順1～4を行う。**

2 **CF-SX2シリーズをお使いの場合は手順3に進む。**
CF-NX2シリーズをお使いの場合は、外付けDVDドライブ（別売り）を本機に接続する。
動作確認済みのDVDドライブについては、『取扱説明書 基本ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。接続のしかたは、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。

3 **パソコンの電源を入れ、51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。**

4 **F9を押す。**
確認の画面で[はい]を選び、Enterを押してください。

5 **CF-SX2シリーズをお使いの場合は次の手順を行う。**
① ←と→を使って「メイン」メニューに移動する。
② ↑と↓を使って[光学ドライブ電源]を選び、Enterを押して[オン]を選び、Enterを押す。

CF-NX2シリーズをお使いの場合は手順6に進む。

6 **F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押す。**
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enterを押してください。

7 **パソコンの電源を入れ、51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。**

8 **リカバリーディスク（1枚目）をCD/DVDドライブにセットする。**
- CF-SX2シリーズをお使いで、ディスクカバーが開かない場合は、次の手順を行ってください。
  ①「詳細」メニューの[光学ドライブ]を[有効]、「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。
  ② F10を押し、確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enterを押す。
  ③「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押し、セットアップユーティリティを起動する。
  ④ リカバリーディスクをセットする。
- CF-NX2シリーズをお使いの場合、ディスクのセット方法については外付けDVDドライブに付属の説明書をご覧ください。

9 **←と→を使って「終了」メニューに移動する。**

10 ⇧と⇩を使って［デバイスを指定して起動］の下に表示されているCD/DVDドライブのデバイス名を選び、Enterを押す。

- CD/DVDドライブのデバイス名は、MATSHITAXXXやSlimtypeDVDXXXなどで表示されます。

11 ［Windowsを再インストールする。］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

［キャンセル］をクリックすると、操作を中止できます。

12 確認画面で「はい」をクリックする。

13 ［はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

14 画面を確認し［次へ］をクリックする。

- 以降は画面の指示に従って、再インストールしてください。
- リカバリーディスクが複数枚ある場合は、途中で「ドライブに... 番目のメディアを挿入してください」というようなメッセージが表示されます。その場合は、メッセージに表示されている番号のリカバリーディスクをセットして［OK］をクリックしてください。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。データの消去にはリカバリーディスクを準備してください。詳しくは『取扱説明書 基本ガイド』「リカバリーディスクを作成する」をご覧ください。

> ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

次の点を確認してください。

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- データ消去には、1時間～5時間かかります（ハードディスクの容量によって消去時間は異なります）。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- 修復用領域（➡88ページ）は消去されません。

データをすべて消去する

1 本機にリカバリーディスクをセットしてから電源を切る。

2 ACアダプターを接続して、パソコンの電源を入れる。

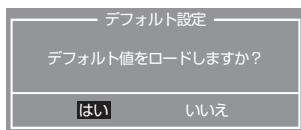
3 51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。

4 [F9] を押す。

5 次の画面で［はい］を選び、[Enter] を押す。

デフォルト設定

デフォルト値をロードしますか？

はい　　いいえ

7 [F10] を押して、確認のメッセージが表示されたら、［はい］を選び、[Enter] を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、[Enter] を押してください。

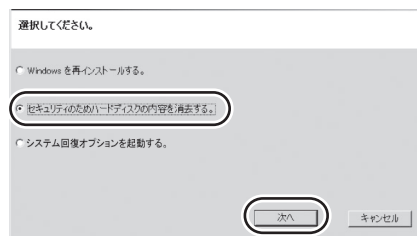
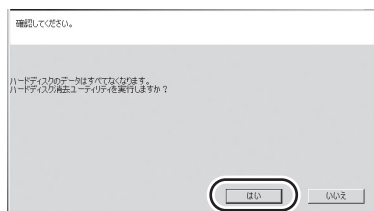
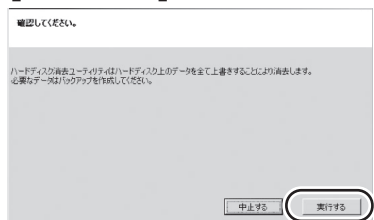
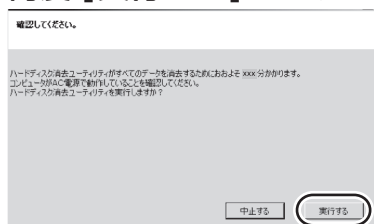
8 51ページの手順でセットアップユーティリティを起動する。

9 [←] と [→] を使って「終了」メニューに移動する。

10 [↑] と [↓] を使って［デバイスを指定して起動］から光学ドライブを選び [Enter] を押す。

11 ［セキュリティのためハードディスクの内容を消去する］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

［キャンセル］をクリックすると、操作を中止できます。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

10 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

11 [実行する]をクリックする。

12 再度[実行する]をクリックする。

13 [はい]をクリックする。
さらにもう一度確認画面で「はい」をクリックすると、ハードディスクのデータ消去が開始されます。

14 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。
- パソコンの電源が切れます。
- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。
- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード/メッセージ	対 処
システムCMOS値が正しくありません。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ●セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
システムCMOSのチェックサムが正しくありません。	
日付と時刻の設定が正しくありません。20XX/01/01に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ●セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
エラー ハードディスク保護により、アクセスが禁止されています。 セットアップユーティリティを起動し、正しく設定し直してください。	ハードディスクへのアクセスが禁止されています。 ●セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、[ハードディスク保護]を[無効]に設定してください。
< F2 >キーを押すとセットアップを起動します。	●エラー内容をメモした後、F2またはDelを押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOSが正しくインストールされていません。 ●フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ●ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。 ・認識されている場合(「xxx GB」と表示)は、再インストールを行ってください。 ・認識されていない場合(「なし」と表示)は、ご相談窓口にご相談ください。 ●USBポートに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシーUSB]を[無効]に設定してください。
Disk error Press any key to restart	
製品に同梱されているACアダプターをご使用ください。 何かキーを押すと続行します。	指定のACアダプターをご使用ください。

セットアップユーティリティの起動方法：➡51ページ

アプリケーションソフトの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、『操作マニュアル』「アプリケーションソフト」や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。
インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトのメーカーのホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご覧ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、お使いのパソコンの状況をご確認のうえ、下記へお問い合わせください。

（2012年8月現在）

●緑のgooスティック　goo事務局
（緑のgooスティックがインストールされているモデルをお使いの場合のみ使うことができます）

受付時間	月～金曜日 10:00 ～ 18:00（年末年始、祝祭日を除く）		
電話	045-848-4190（FAXによるお問い合わせは受け付けておりません）		
E-mail	info@goo.ne.jp	Web	http://stick.goo.ne.jp/

●PowerDVD　サイバーリンクカスタマーサポート

受付時間	10:00 ～ 13:00、14:00 ～ 17:00（土日祝日、休業日を除く）
電話	ナビダイヤル：0570-080-110 03-5205-7670（PHS、一部電話はこちら）
URL	http://support.cyberlink.jp/

●マカフィー・PC セキュリティセンター（デスクトップに が表示されている機種をお使いの場合のみセットアップすることができます）

マカフィー・インフォメーションセンター

対応内容	マカフィー製品購入前のマカフィー製品に関するお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp
電話	ナビダイヤル：0570-010-220 ／ IP電話、光電話の場合：03-5428-1899
受付時間	9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く）

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

対応内容	登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
電話	ナビダイヤル：0570-030-088 ／ IP電話、光電話の場合：03-5428-1792
受付時間	9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く）

マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容	ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	マカフィー・チャットサポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
電話	ナビダイヤル：0570-060-033 ／ IP電話、光電話の場合：03-5428-2279
受付時間	9:00 ～ 21:00（年中無休）

（FAXによるお問い合わせは受け付けておりません）

●「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版

窓口	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター
FAQ	http://www.daj.jp/faq/
お問い合わせフォーム	http://www.daj.jp/ask/
E-mail	p-support@daj.co.jp
電話	ナビダイヤル ®：0570-00-1334
受付時間	月～金：10:00 ～ 18:00 土日祝祭日：10:00 ～ 20:00
URL	http://www.daj.jp/

●キングソフト辞書

窓口	キングソフトサポートセンター
お問い合わせフォーム	https://pay.kingsoft.jp/contact/contact_ksd.html
E-mail	ksd_spt@kingsoft.jp
電話	ナビダイヤル ®：0570-008230
受付時間	10：00 ～ 17：00（土・日・祝祭日を除く）
URL	http://www.kingsoft.jp/dictionary/

●WinZip 16.5日本語版

窓口	コーレル株式会社 Corelストア サービスセンター
E-mail	jpstore@corel.com
電話	ナビダイヤル ®：0570-009-002
受付時間	月～金曜日、10:00 ～ 12:00、13:30 ～ 17:30（祝祭日、夏季・年末年始・特定休業日を除く）
FAX	03-3544-8175
サポートページ	www.corel.jp/winzip/panasonic.html

フィルタリングについて

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、上述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアをインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

本機には、「フィルタリング」機能をサポートするソフトウェアとして「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版が用意されています。デスクトップの「有害サイトから守るiフィルターのセットアップ」をダブルクリックして「i-フィルター 6.0」30日間無料お試し版をインストールすることができます。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルター」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

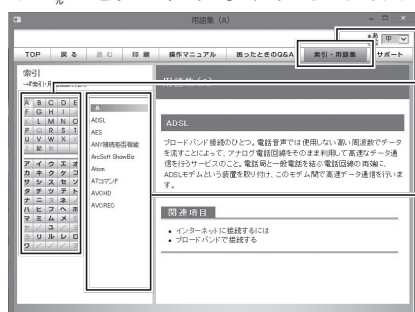
フィルタリングに関する情報は、一般社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。

http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=414&ca=14

（2012年8月現在）

さくいん

の項目は、画面で見る『操作マニュアル』の「索引・用語集」をご覧ください。

デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックしてください。

① 索引・用語集 をクリック

②お探しの用語の頭文字をクリック

③一覧から見たい用語をクリック

さくいん

さくいん

さくいん

● Microsoftとそのロゴ、Windows、Windowsロゴ、Outlookは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
● Intel、Intel Core、インテルは、米国 Intel Corporationの商標または登録商標です。
● SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

● Bluetoothは、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
● Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
● McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
●「i-フィルター」はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
● WiMAXはWiMAX Forumの商標です。
● HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
● ホイールパッドは、パナソニック株式会社の登録商標です。
その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ
● お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器 / 装置 / システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器 / 装置 / システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療診断目的で画像を表示することを意図しておりません。
● お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障 / 修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化 / 消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「使用上のお願い」（➡10 ～ 15ページ）の内容に注意してください。

● 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
● 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
● 落丁、乱丁はお取り換えします。
● 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
● 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B
2-J-2

（CD/DVDドライブ搭載モデルのみ）
本装置はレーザー利用機器です。
ご注意 - ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。分解や修理は行わないでください。
14-J-1-1

クラス1 レーザー製品

本装置は、一般社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
（一般社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
3-J-1-1

日本国内で無線LAN/Bluetoothをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式 / 直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。

この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式の無線装置で、干渉距離が約10m であることを意味します。
25-J-2-1

5 GHz 帯の無線LANをお使いになる場合のお願い
5 GHz 帯の無線LANは、電波法の規制により、屋外で使用できません。
お客さまが2.4 GHz帯11nモードで無線LANをお使いの際に、無線LANのデバイス・プロパティにて802.11nチャンネル幅を「自動」(40 MHz帯域幅も可能) へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を20 MHzへ戻してください。
43-J-2

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。
53-J-1

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

22-J-1

愛情点検　**長年ご使用のパソコンの点検を！**

こんな症状はありませんか	• 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0912-0
DFQW5670ZA

Printed in Japan